

GFP北海道 輸出セミナー&マッチング in 旭川

2023年1月27日(金) 13:00~18:00



開会

農林水産物・食品の輸出促進について



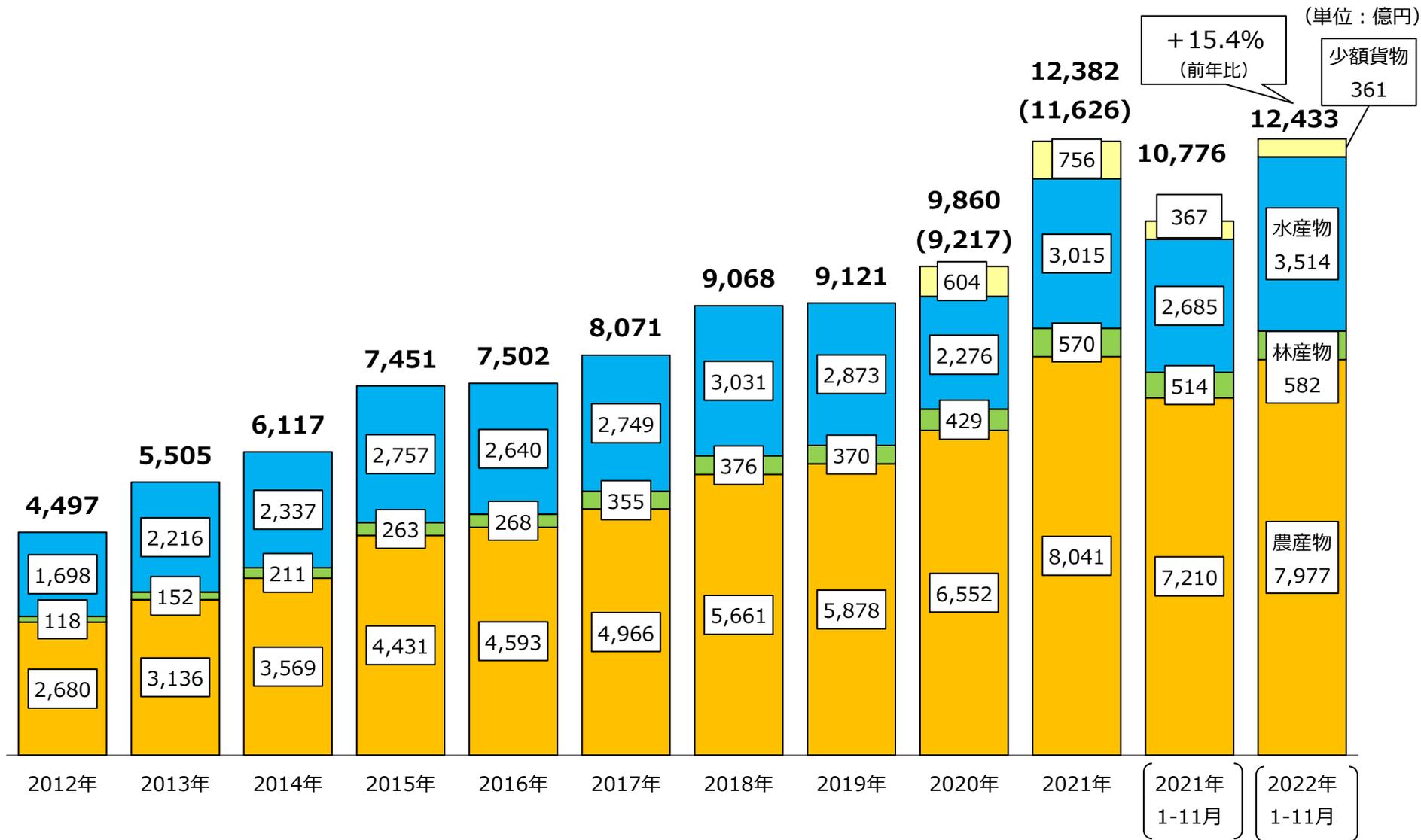
令和5年1月
北海道農政事務所

目次



輸出の状況	p. 2～
政府の輸出促進政策と新たな輸出額目標	p.10～
農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略	p.11～
農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律に基づく取組・・・	p.15～
農林水産物・食品輸出プロジェクト（GFP）の取組	p.16～
輸出関係予算	p.22～
G I（地理的表示保護制度）	p.31～

農林水産物・食品 輸出額の推移



※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

※2020年の(9,217)は少額貨物及び木製家具を含まない数値
2021年の(11,626)は少額貨物を含まない数値

2022年11月 農林水産物・食品の輸出額

	金額	前年差	前年比
11月単月	1,216億円	+171億円	+16.4%
1 - 11月累計 <small>(1-6月累計の少額貨物輸出額を含む)</small>	1兆2,433億円	+1,657億円	+15.4%

2022年1-11月の輸出実績は、1兆2,433億円を記録し、昨年の年間実績を上回りました。(昨年実績1-12月 1兆2,382億円)

品目別の状況（単月）

輸出額の増加が大きい主な品目

品目	増加額	主な増加国・地域
ホタテ貝(調製)	+30億円	香港、シンガポール、中国
ホタテ貝(生鮮等)	+19億円	中国、台湾、香港
アルコール飲料	+19億円	中国、シンガポール、ベトナム

輸出額の減少が大きい主な品目

品目	減少額	主な減少国・地域
牛肉	▲ 8億円	カンボジア、アメリカ
播種用の種等	▲ 6億円	デンマーク、アメリカ
かつお・まぐろ類	▲ 4億円	タイ

国・地域別の状況（単月）

輸出額の増加が大きい主な国・地域

国・地域	増加額	主な増加品目
中国	+72億円	アルコール飲料、ホタテ貝(生鮮等)、なまこ(調製)
台湾	+31億円	ホタテ貝、りんご、たまねぎ
シンガポール	+18億円	ホタテ貝(調製)、アルコール飲料、牛肉

輸出額の減少が大きい主な国・地域

国・地域	減少額	主な減少品目
カンボジア	▲ 11億円	牛肉
アメリカ	▲ 11億円	牛肉、アルコール飲料、ソース混合調味料
オランダ	▲ 4億円	ホタテ貝(生鮮等)

2022年の農林水産物・食品 輸出額（1-11月）品目別

農林水産省
輸出・国際局

品目	金額 (百万円)	前年比 (%)
加工食品	459,184	+10.8
アルコール飲料	127,883	+22.7
日本酒	43,489	+21.3
ウイスキー	52,440	+21.3
焼酎（泡盛を含む）	1,984	+34.8
ソース混合調味料	44,530	+13.2
清涼飲料水	44,035	+20.3
菓子（米菓を除く）	24,377	+14.6
醤油	8,652	+5.4
米菓（あられ・せんべい）	4,773	▲ 6.0
味噌	4,671	+17.8
畜産物	113,787	+12.0
畜産物	86,078	+8.4
牛肉	46,037	▲ 3.4
牛乳・乳製品	28,085	+27.0
鶏卵	8,026	+46.2
豚肉	2,063	▲ 12.9
鶏肉	1,868	+3.3
穀物等	56,644	+13.0
米（援助米除く）	6,605	+25.1
野菜・果実等	55,897	+17.7
青果物	36,575	+19.0
りんご	11,577	+0.6
ぶどう	5,134	+17.2
いちご	4,090	+28.9
もも	2,896	+24.8
かんしょ	2,412	+14.4
ながいも	2,220	+14.9
なし	1,226	+33.3
かんきつ	951	+11.9
かき	763	+50.1

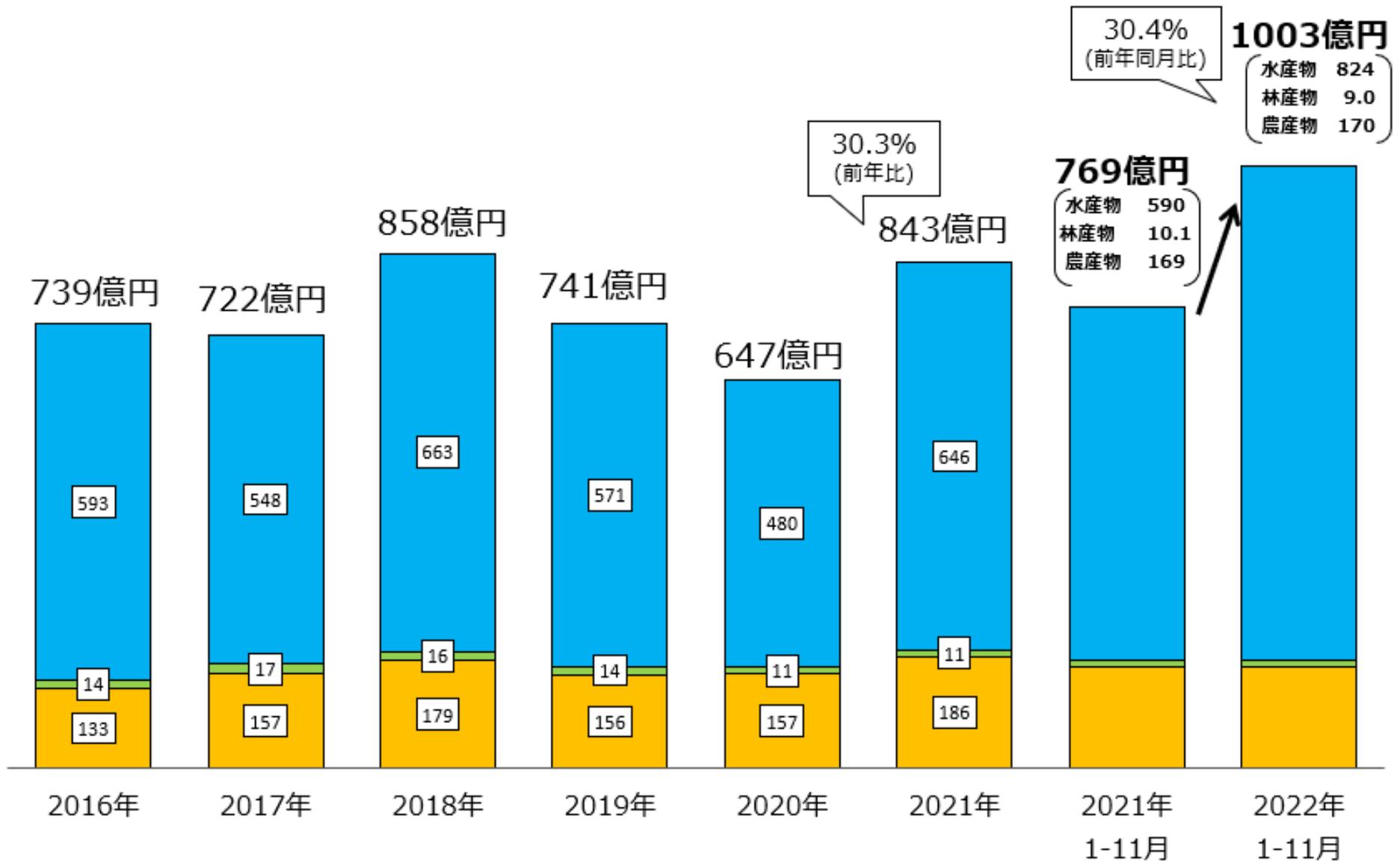
品目	金額 (百万円)	前年比 (%)
その他農産物	112,183	+4.5
たばこ	11,286	▲ 18.7
緑茶	19,676	+7.3
花き	7,626	+1.6
植木等	5,993	▲ 1.6
切花	1,406	+15.3
林産物	58,207	+13.2
丸太	18,891	▲ 1.8
合板	9,903	+45.9
製材	8,673	▲ 0.2
木製家具	6,155	+25.4
水産物（調製品除く）	274,940	+31.4
ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍等）	84,895	+46.9
ぶり	31,820	+39.2
真珠（天然・養殖）	21,576	+38.5
さば	17,998	▲ 13.3
かつお・まぐろ類	16,542	▲ 11.6
いわし	11,361	+63.9
たい	6,882	+45.8
さけ・ます	5,052	+90.8
すけとうたら	2,788	+52.8
さんま	259	▲ 57.4
水産調製品	76,439	+28.9
なまこ（調製）	16,400	+14.7
ホタテ貝（調製）	13,157	+109.9
練り製品	11,150	+9.1
貝柱調製品	3,591	▲ 29.8

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

※「牛肉」、「鶏卵」、「豚肉」、「鶏肉」、「かんしょ」、「かき」の金額はそれぞれの加工品を含む金額。
「青果物」、「かんしょ」、「かき」の前年同月比は加工品を除く金額で算出

※「ぶり」の金額はぶり（活）を含む金額。但し、前年同月比はぶり（活）を除く金額で算出

北海道における農林水産物・食品 輸出額の推移 (2022年1-11月)



北海道における農林水産物・食品 輸出額（2022年1-11月） 品目別

品目	金額 (百万円)	対前年同期 増減率(%)
加工食品	5,335	▲ 18.1
ビール	46	105.0
清酒	73	▲ 50.0
その他アルコール飲料	259	▲ 14.0
調味料	212	▲ 7.7
ソース混合調味料	102	▲ 19.3
その他（でん粉・清涼飲料等）	1,499	▲ 0.8
調製食料品	544	▲ 12.0
チョコレート菓子	1,561	1.0
その他菓子（米菓を除く）	389	▲ 4.1
その他の砂糖菓子	2	-
ベーカリー製品類	1,197	▲ 44.3
畜産品	5,412	5.9
牛肉	323	26.6
豚肉	500	▲ 10.3
鶏肉	15	▲ 21.1
鳥卵・卵黄	76	▲ 48.8
酪農品	1,590	1.4
牛乳・部分脱脂乳	813	▲ 8.3
粉乳等	734	14.7
動物性油脂	905	56.9
原皮	643	▲ 13.4
穀物等	1,436	1.4
米	780	51.9
その他穀物	781	51.7
穀粉調製品	608	▲ 27.3
麦芽エキス、穀粉等	233	▲ 54.1
即席麺	24	▲ 27.2
シリアル食品	12	20.9
野菜・果実等	4,083	24.9

品目	金額 (百万円)	対前年同期 増減率(%)
果実・その調製品	464	▲ 18.2
野菜・その調製品	3,618	33.9
野菜（生鮮・冷蔵・乾燥）	2,175	43.6
たまねぎ及びシャロット	1,040	286.2
ながいも等	1,058	▲ 6.9
その他の野菜調製品	1,442	21.5
ばれいしょ	1,322	22.5
その他農産物	711	13.5
配合調製飼料	501	10.8
林産物	904	▲ 10.4
素材（丸太）	557	▲ 20.9
製材	306	2.8
水産物（調製品除く）	72,811	46.1
さんま	69	0.8
いわし	363	0.6
ひらめ・かれい	492	63.9
たら	500	127.2
すけそうたら	588	▲ 21.7
さけ・ます	4,617	110.8
かに	1,004	53.9
いか	21	▲ 2.3
たこ	307	65.3
ホタテ貝	56,363	43.5
魚油（肝油除く）	4,802	308.9
水産調製品	9,609	5.4
キャビア及びその代用物	854	553.6
貝柱（調製）	313	▲ 35.5
なまこ	6	-
乾燥なまこ（調製）	2,855	▲ 5.8
その他の調製なまこ	4,282	▲ 13.5

※ 財務省「貿易統計」を基に北海道農政事務所作成

2022年の農林水産物・食品 輸出額 国・地域別

農林水産省
輸出・国際局



順位	2022年1-11月（累計）							2022年11月（単月）				
	輸出先	輸出額 （億円）	金額 構成比 （%）	前年 同期比 （%）	輸出額内訳（億円）			輸出額 （億円）	前年 同月比 （%）	輸出額内訳（億円）		
					農産物	林産物	水産物			農産物	林産物	水産物
1	中華人民共和国	2,547	21.1	+25.9	1,512	220	816	254	+39.2	158	22	75
2	香港	1,854	15.4	▲ 6.2	1,177	14	663	214	+7.6	122	1	91
3	アメリカ合衆国	1,781	14.7	+18.2	1,217	71	493	125	▲ 7.9	78	6	41
4	台湾	1,281	10.6	+20.0	935	36	310	164	+23.5	118	3	43
5	ベトナム	649	5.4	+26.8	446	8	195	77	+29.4	51	1	25
6	大韓民国	590	4.9	+27.8	339	41	210	67	+19.5	35	3	29
7	シンガポール	511	4.2	+40.2	420	6	86	56	+47.7	43	1	13
8	タイ	464	3.8	+15.7	235	9	220	40	+16.9	24	1	15
9	フィリピン	285	2.4	+53.9	122	137	25	30	+48.4	14	13	2
10	オーストラリア	265	2.2	+30.0	229	2	34	23	+21.0	21	0	2
-	E U	623	5.2	+9.0	488	15	120	48	▲ 15.0	40	1	7

北海道における農林水産物・食品 輸出額（2022年1-11月）国・地域別

農林水産省
輸出・国際局



順位	輸出先	輸出額 (億円)	前年同期 増減率 (%)	輸出額内訳(億円)			主な輸出品目 (下段は全体に占める割合)		
				農産物	林産物	水産物	1位	2位	3位
1	中華人民共和国	537.4	30.7	29.6	2.7	505.1	ホタテ貝 (生・蔵・凍・塩・乾) 80.8%	なまこ (調製) 5.8%	さけ・ます 1.7%
2	台湾	75.7	25.7	26.8	0.0	48.8	ホタテ貝 (生・蔵・凍・塩・乾) 19.7%	なまこ (調製) 17.2%	たまねぎ 12.0%
3	香港	69.7	▲ 29.7	24.3	0.0	45.5	なまこ (調製) 35.6%	ホタテ貝 (生・蔵・凍・塩・乾) 15.8%	牛乳 11.5%
4	オランダ	51.5	92.4	1.5	0.0	50.0	ホタテ貝 (生・蔵・凍・塩・乾) 97.1%	パスタ類 1.3%	スープ・ブロス 0.8%
5	ベトナム	50.3	37.3	11.2	0.0	39.1	さけ・ます 42.8%	粉乳 10.5%	魚油 (肝油除く) 5.6%
6	アメリカ合衆国	49.3	50.1	10.5	0.2	38.5	ホタテ貝 (生・蔵・凍・塩・乾) 71.4%	菓子 (米菓を除く) 7.0%	かに (活・生・蔵・凍) 6.7%
7	チリ	31.0	411.0	0.0	0.0	31.0	魚油 (肝油除く) 100.0%		
8	大韓民国	27.0	60.7	13.7	4.2	9.2	動物性油脂 21.2%	ホタテ貝 (生・蔵・凍・塩・乾) 20.2%	丸太 15.4%
9	タイ	24.9	63.8	6.1	0.9	17.8	さけ・ます 48.5%	豚の皮 (原皮) 13.0%	ホタテ貝 (生・蔵・凍・塩・乾) 5.5%
10	オーストラリア	16.3	8.5	13.4	0.0	2.9	馬 (純粋種繁殖用等) 81.7%	ホタテ貝 (生・蔵・凍・塩・乾) 17.7%	調製食料品 0.5%
—	E U	76.7	93.7	7.4	0.1	69.3	ホタテ貝 (生・蔵・凍・塩・乾) 90.3%	調製食料品 2.9%	パスタ類 2.6%

財務省「貿易統計」を基に北海道農政事務所作成

2022年の農林水産物・食品 輸出額

農林水産省
輸出・国際局

	農林水産物	前年同月比	輸出額内訳		
			農産物	林産物	水産物
1月	787億円	+3.7%	544億円	37億円	206億円
2月	901億円	+18.0%	610億円	50億円	241億円
3月	1,104億円	+7.3%	748億円	61億円	295億円
4月	1,146億円	+12.0%	717億円	51億円	379億円
5月	1,054億円	+19.1%	674億円	55億円	325億円
6月	1,173億円	+24.0%	759億円	58億円	356億円
7月	1,178億円	+21.9%	775億円	58億円	345億円
8月	1,122億円	+16.3%	753億円	56億円	314億円
9月	1,141億円	+17.1%	772億円	48億円	321億円
10月	1,251億円	+18.7%	843億円	54億円	354億円
11月	1,216億円	+16.4%	784億円	55億円	377億円
12月					
計	12,073億円	+15.9%	7,977億円	582億円	3,514億円
計 (少額貨物輸出額を含む)	12,433億円	+15.4%	—	—	—

<少額貨物輸出額>

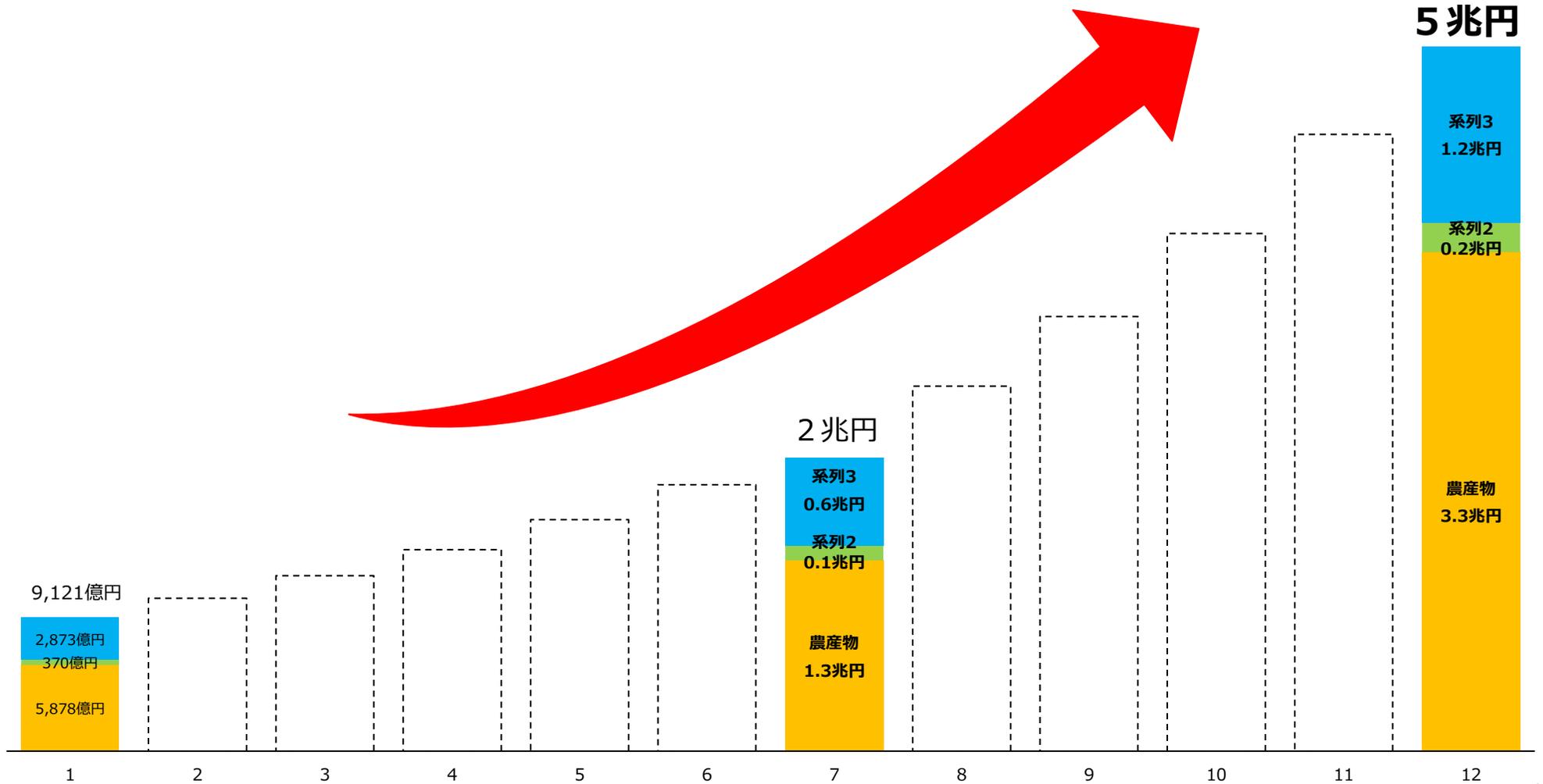
	少額貨物	前年同期比
1-6月	361億円	▲1.6%
7-12月		
計	361億円	▲1.6%

※少額貨物…輸出入申告の際、1品目20万円以下の貨物に関しては「貿易統計」に計上されておらず、別途調査を行っている。(1-6月、7-12月の年2回集計)

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成
※少額貨物は財務省調査を基に農林水産省作成

新たな農林水産物・食品の輸出額目標

農林水産物・食品の輸出額を、2025年までに2兆円、2030年までに5兆円とすることを目指す。



※少額貨物（1ロット20万円以下）を新たに輸出額のカウントに追加

農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略（R4年12月改訂）について



戦略の趣旨

- 2025年2兆円・2030年5兆円目標の達成は、海外市場で求められるスペック（量・価格・品質・規格）の産品を専門的・継続的に生産・販売する（＝「マーケットイン」）体制整備が不可欠



改訂の概要

- 輸出促進法等の一部改正法の施行（R4年10月1日）等を踏まえ、R5年度に実施する施策、R6年度以降の実施に向け検討する施策について、その方向性を決定

3つの基本的な考え方と具体的施策

1. 日本の強みを最大限に発揮するための取組

- ①輸出重点品目(29品目)と輸出目標の設定
- ②輸出重点品目に係るターゲット国・地域、輸出目標、手段の明確化
- ③品目団体の組織化とその取組の強化
- ④輸出先国・地域における専門的・継続的な支援体制の強化
- ⑤JETRO・JFOODOと認定農林水産物・食品輸出促進団体等の連携
- ⑥日本食・食文化の情報発信におけるインバウンドとの連携

2. マーケットインの発想で輸出にチャレンジする事業者の支援

- ⑦リスクを取って輸出に取り組む事業者への投資の支援
- ⑧マーケットインの発想に基づく輸出産地・事業者の育成・展開
- ⑨大ロット・高品質・効率的な輸出等に対応可能な輸出物流の構築
- ⑩輸出向けに生産・流通を転換するフラッグシップ輸出産地の形成
- ⑪輸出を後押しする農林水産事業者・食品事業者の海外展開の支援

3. 政府一体となった輸出の障害の克服

- ⑫輸出先国・地域における輸入規制の撤廃
- ⑬輸出加速を支える政府一体としての体制整備
- ⑭輸出先国・地域の規制やニーズに対応した加工食品等への支援
- ⑮日本の強みを守るための知的財産対策強化

4. 国の組織体制の強化

北海道 輸出重点品目の輸出産地リストマップ

◎ 牛肉



- ホクレン食肉輸出コンソーシアム (北海道全域)

◎ 豚肉



- 北海道産豚肉輸出拡大コンソーシアム (新冠町)

◎ 鶏肉



- 日本ホワイトファーム(株)札幌コンソーシアム (厚真町)

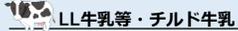
◎ 牛乳乳製品



LL牛乳等・チルド牛乳



- よつ葉乳業(株) (旭川市、音更町)
- 雪印メグミルク(株) (旭川市、中標津町、大樹町)
- 北海道乳業(株) (函館市)



LL牛乳等・チルド牛乳

- 北海道日高乳業(株) (日高町)
- (株)北海道酪農公社 (江別町)
- ホクレン農業協同組合連合会 (旭川市)

◎ 味噌



- 全国味噌工業協同組合連合会北海道組合 (札幌市)
- 福山醸造(株) (札幌市)
- 岩田醸造(株) (札幌市)
- 渋谷醸造(株) (本別町)
- 倉繁醸造(株) (網走市)
- 服部醸造(株) (八雲町)
- 太田醸造(有) (訓子府町)
- 北海道味噌(株) (旭川市)

◎ 醤油



- 北海道味噌醤油工業協同組合 (札幌市)
- 福山醸造(株) (札幌市)
- 北海道醤油(株) (札幌市)
- 渋谷醸造(株) (中川郡)

◎ その他の野菜



- たまねぎ
- 音更町農業協同組合 (音更町)
- ふらの農業協同組合 (富良野市)
- きたみらい農業協同組合 (北見市)
- 常呂町農業協同組合 (北見市常呂町)
- えんゆう農業協同組合 (湧別町)
- 美幌地方広域農業協同組合連合会 (美幌町)



- かぼちゃ
- 新ブランド農産物生産組合あつさぶ農匠 (厚沢部町)



- ながいも
- 帯広大正農業協同組合 (帯広市)
- 帯広市川西農業協同組合 (帯広市)
- 音更町農業協同組合 (音更町)



- にんじん
- 音更町農業協同組合 (音更町)



- にんにく
- 十勝清水町農業協同組合 (清水町)
- 常呂町農業協同組合 (北見市常呂町)

◎ ホタテ貝



- ホタテ貝 (北海道全域)
- 北海道漁業協同組合連合会
- カネヨ木村水産(株)
- (株)カネキチ澤田水産
- (有)カネヤマ松浦水産
- (有)丸二永光水産
- 異冷凍食品(株)
- 稚内東部(株)
- カクイチ畠森水産(株)
- 広瀬水産(株)
- (株)丸木堀切商店
- (株)マルキチ
- 北見食品工業(株)
- 同和食品(株)
- (株)カネコメ田中水産
- マルゼン食品(株)
- (株)北海永徳
- (株)マ印神内商店
- (株)丸イ佐藤海産

◎ ウィスキー



- ウィスキー
- 札幌酒精工業(株) (札幌市)

◎ 清酒



- 清酒
- 日本清酒(株) (札幌市)
- 男山(株) (旭川市)
- 高砂酒造(株) (旭川市)
- 福司酒造(株) (釧路市)
- 小林酒造(株) (栗山町)
- 金滴酒造(株) (新十津川町)
- 三千櫻酒造(株) (東川町)
- 国稀酒造(株) (増毛町)

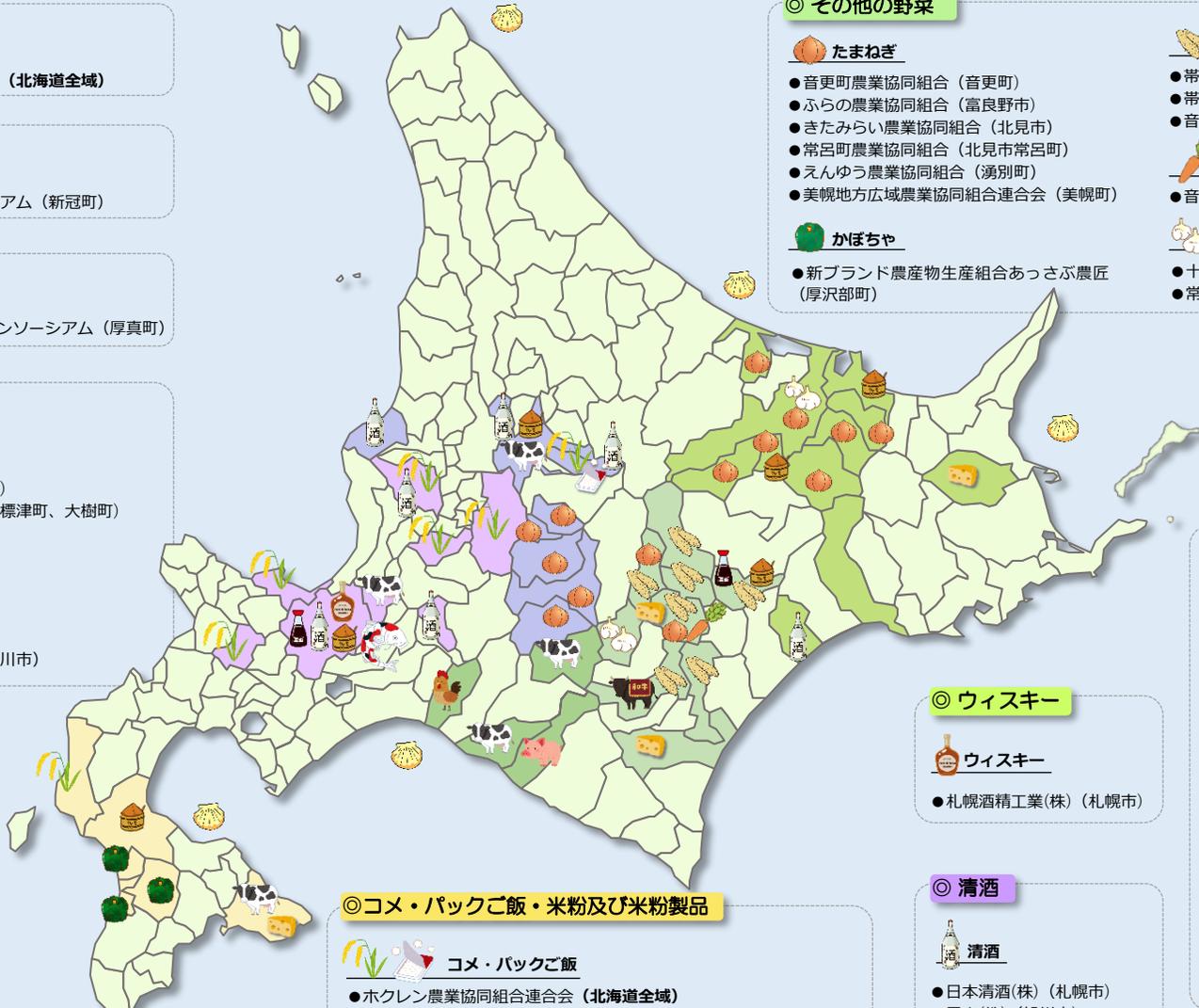
◎ コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品



- コメ・パックご飯
- ホクレン農業協同組合連合会 (北海道全域)
- 東川町農業協同組合 (東川町)



- コメ
- (株)芦別RICE (芦別市)
- 新篠津農業協同組合 (新篠津村)
- 北海道産米輸出促進協議会 (小樽市、美瑛町、倶知安町、せたな町)
- (株)松原米穀契約生産者組合 (北海道全域)



農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略に基づく輸出重点品目の輸出産地リスト

※牛肉・豚肉・鶏肉・鶏卵・牛乳乳製品における輸出産地のエリア・所在地については、産地の核となる食肉処理施設、食鳥処理施設、鶏卵処理施設、乳業者の所在地を記載しています。

令和4年5月20日時点

品目	品目の詳細	輸出産地			実施主体 (輸出事業計画の策定者)		
		輸出産地名	産地のエリア・所在地		事業者名	所在地	
			都道府県	市町村		都道府県	市町村
牛肉	-	(株)北海道畜産公社を中心とした産地	北海道	全域	ホクレン食肉輸出コンソーシアム	北海道	札幌市
豚肉	-	(株)日高食肉センターを中心とした産地	北海道	新冠町	北海道産豚肉輸出拡大コンソーシアム	北海道	新冠町
鶏肉	-	日本ホワイトファーム(株)を中心とした産地	北海道	厚真町	日本ホワイトファーム(株)札幌コンソーシアム	北海道	厚真町
牛乳乳製品	LL牛乳等	北海道	北海道	旭川市	よつ葉乳業株式会社	北海道	札幌市(本社)
	チーズ			音更町			
	LL牛乳等			旭川市	雪印メグミルク株式会社	東京都	新宿区(本社)
	チーズ			中標津町 大樹町等			
	LL牛乳等			日高町	北海道日高乳業株式会社	北海道	日高町
	LL牛乳等			江別市	株式会社北海道酪農公社	北海道	江別市
	チルド牛乳			函館市	北海道乳業株式会社	北海道	函館市
	チーズ			旭川市	ホクレン農業協同組合連合会	北海道	札幌市
	LL牛乳等						
その他の野菜	たまねぎ	北海道	北海道	・十勝管内(音更町、鹿追町) ・上川管内(富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村) ・オホーツク管内(北見市、訓子府町、置戸町、北見市常呂町、湧別町、美幌町、津別町、大空町)	音更町農業協同組合	北海道	音更町
					ふらの農業協同組合		富良野市
					きたみらい農業協同組合	北海道	北見市
					常呂町農業協同組合		北見市常呂町
					えんゆう農業協同組合		湧別町
					美幌地方広域農業協同組合連合会		美幌町

品目	品目の詳細	輸出産地			実施主体 (輸出事業計画の策定者)		
		輸出産地名	産地のエリア・所在地		事業者名	所在地	
			都道府県	市町村		都道府県	市町村
その他の野菜	ながいも	北海道	北海道	十勝管内(帯広市、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、幕別町)	帯広大正農業協同組合	北海道	帯広市
	にんじん			帯広市川西農業協同組合	帯広市		
				音更町農業協同組合	音更町		
	にんにく(加工品含む)			音更町	音更町農業協同組合	北海道	音更町
				清水町	十勝清水町農業協同組合		清水町
				北見市常呂町	常呂町農業協同組合		北見市常呂町
かぼちゃ		厚沢部町、江差町、乙部町	新ブランド農産物生産組合あっさぶ農匠			厚沢部町	
コメ・バックご飯	コメ・バックご飯	北海道	全域	ホクレン農業協同組合連合会	北海道	札幌市	
		東川町	東川町	東川町農業協同組合		東川町	
	コメ	芦別市	芦別市	(株)芦別RICE		芦別市	
		新篠津村	新篠津村	新篠津農業協同組合	北海道	新篠津村	
		小樽市 美唄市 倶知安町 せたな町	小樽市 美唄市 倶知安町 せたな町	北海道産米輸出促進協議会		小樽市	
		北海道	全域	(株)松原米穀契約生産者組合(仮称)		札幌市	

品目	品目の詳細	輸出産地			実施主体 (輸出事業計画の策定者)									
		輸出産地名	産地のエリア・所在地		事業者名	所在地								
			都道府県	市町村		都道府県	市町村							
ホタテ貝	ホタテ貝	北海道	北海道	道内全域	北海道漁業協同組合連合会 カネヨ木村水産(株) (株)カネキチ澤田水産 (有)カネヤマ松浦水産 (有)丸ニ永光水産 巽冷凍食品(株) 稚内東部(株) カクイチ昌森水産(株) 広瀬水産(株) (株)寺本商店 (株)丸木堀切商店 (株)マルキチ 北見食品工業(株) 同和食品(株) (株)カネコメ田中水産 マルゼン食品(株) (株)北海永徳 (株)マ印神内商店 (株)丸イ佐藤海産	北海道	札幌市 森町 枝幸町 猿払村 稚内市 雄武町 紋別市 湧別町 佐呂間町 網走市 苫小牧市 標津町 別海町							
味噌	北海道味噌	北海道	北海道	道内全域	全国味噌工業協同組合連合会 北海道組合 福山醸造株式会社 岩田醸造株式会社 渋谷醸造株式会社 倉繁醸造株式会社 服部醸造株式会社 太田醸造有限公司 北海道味噌株式会社	北海道	札幌市 札幌市 札幌市 本別町 網走市 八雲町 訓子府町 旭川市							
								醤油	北海道醤油	北海道	道内全域	北海道味噌醤油工業協同組合 福山醸造株式会社 北海道醤油株式会社 渋谷醸造株式会社	北海道	札幌市 札幌市 札幌市 中川郡

品目	品目の詳細	輸出産地			実施主体 (輸出事業計画の策定者)										
		輸出産地名	産地のエリア・所在地		事業者名	所在地									
			都道府県	市町村		都道府県	市町村								
清酒	清酒	日本清酒株式会社 男山株式会社 高砂酒造株式会社 福司酒造株式会社 小林酒造株式会社 金滴酒造株式会社 三千櫻酒造株式会社 国稀酒造株式会社	北海道	札幌市 旭川市 旭川市 釧路市 栗山町 新十津川町 東川町 増毛町	-	-	-								
								ウイスキー	ウイスキー	札幌酒精工業株式会社	北海道	札幌市	-	-	-

農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律等の一部を改正する法律 (令和4年法律第49号)の概要

1 品目団体の法制化

- ・ オールジャパンで輸出先国・地域のニーズ調査やブランディング等に取り組み、市場の開拓等を行う法人を、申請に基づき認定する仕組みを創設

2 輸出事業計画の支援策の拡充

- ・ 輸出事業計画の記載事項として、輸出事業に必要な施設の整備に関する事項を追加
- ・ 輸出事業計画の認定を受けた者に対する日本政策金融公庫の業務の特例として、輸出事業に必要な資金の貸付けを措置（資金用途の追加、償還期限の延長）
※ 輸出事業計画に基づき行う施設等の整備に対する税制上（所得税・法人税）の特例を新設

3 民間検査機関による輸出証明書の発行

- ・ 国の登録を受けた民間検査機関が輸出証明書の発行を行える仕組みを創設

4 有機JAS制度の改善（JAS法改正）

- ・ JAS法を改正し、JAS規格の対象に有機酒類を追加
- ・ その他輸出促進に必要な事項を措置

5 施行日

- ・ 令和4年10月1日

農林水産物・食品輸出プロジェクト（GFP）の取組

- **GFP（ジー・エフ・ピー）** は、Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Projectの略称。農林水産省が推進する**日本の農林水産物・食品の輸出プロジェクト**。
- 平成30年8月31日に農林水産物・食品の輸出を意欲的に取り組もうとする生産者・事業者等のサポートと連携を図る「**GFPコミュニティサイト**」を立ち上げ。
- 当該サイトに登録した者を対象に、農林水産省がジェトロ、輸出の専門家とともに産地に直接出向いて輸出の可能性を無料で診断する「**輸出診断**」を平成30年10月から開始。



GFP登録者へのサービス提供

○農林漁業者・食品事業者へのサービス

- ・ 専門家による無料の輸出診断
- ・ GFPコミュニティサイトで事業者同士が直接マッチング
- ・ 輸出商社の「商品リクエスト情報」の提供
- ・ 輸出希望商品の輸出商社への紹介
- ・ 輸出のための産地づくりの計画策定の支援
- ・ メンバー同士の交流イベントの参加
- ・ 規制情報等の輸出に関連する情報の提供

○輸出商社・バイヤー・物流企業へのサービス

- ・ GFPコミュニティサイトで事業者同士が直接マッチング
- ・ 生産者・製造業者が作成する「商品シート」の提供
- ・ 「商品リクエスト」の全国の生産者・製造業者への発信
- ・ メンバー同士の交流イベントの参加
- ・ 規制情報等の輸出に関連する情報の提供

GFPの登録状況（12月末時点）

GFP登録者数

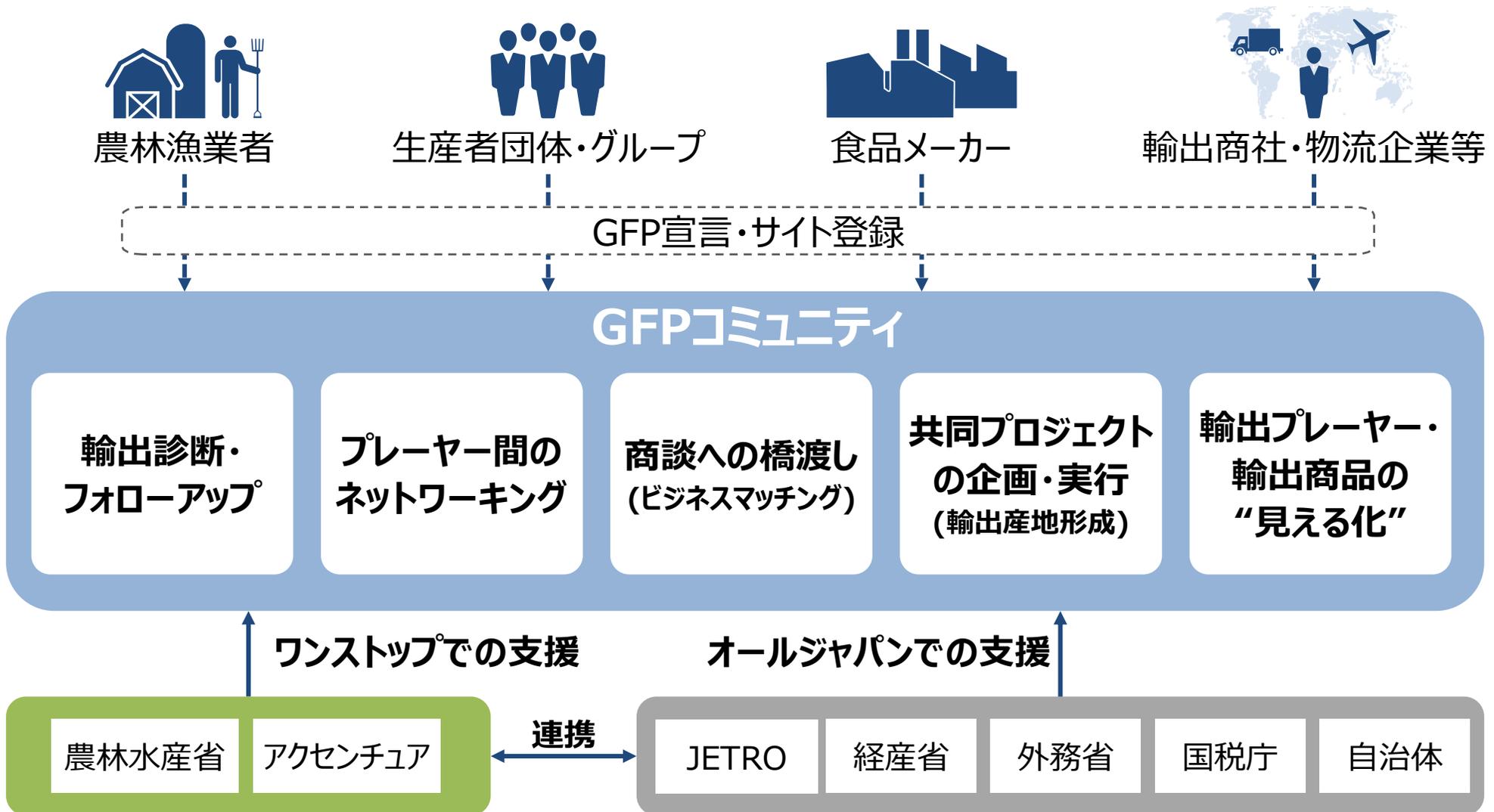
区分	登録者数
農林水産物食品事業者	3,947
流通事業者、物流事業者	3,158
合計	7,105

輸出診断申込状況

区分	
輸出診断申込数	1,550
うち訪問診断希望者	1,157
訪問診断完了数	616

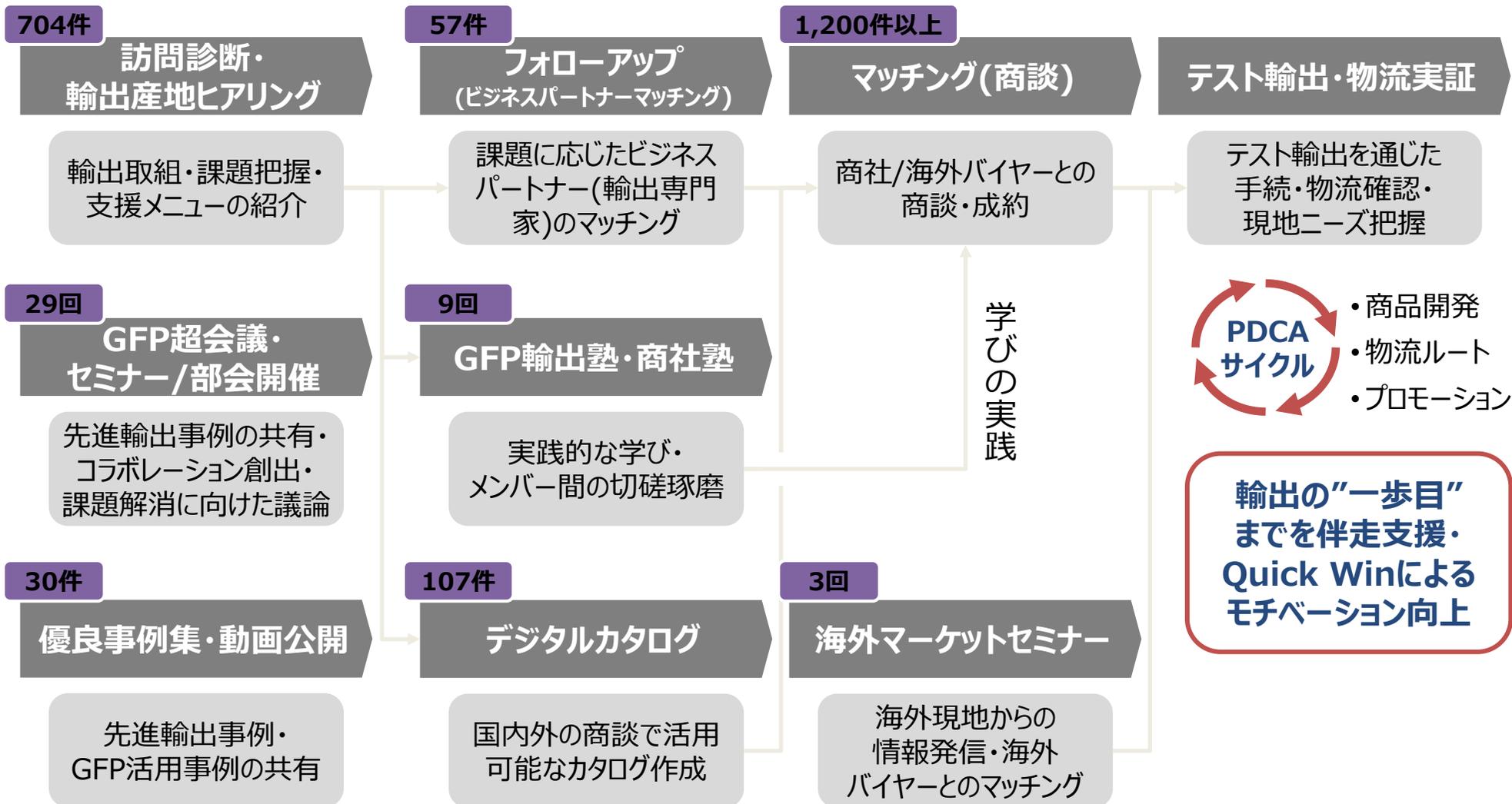
GFPの取組全体像

GFPメンバー間のマッチング・コラボレーション創出・きめ細かなフォローアップ/伴走支援に重きを置くことで、JETRO等既存の支援サービスとの差別化を重視。



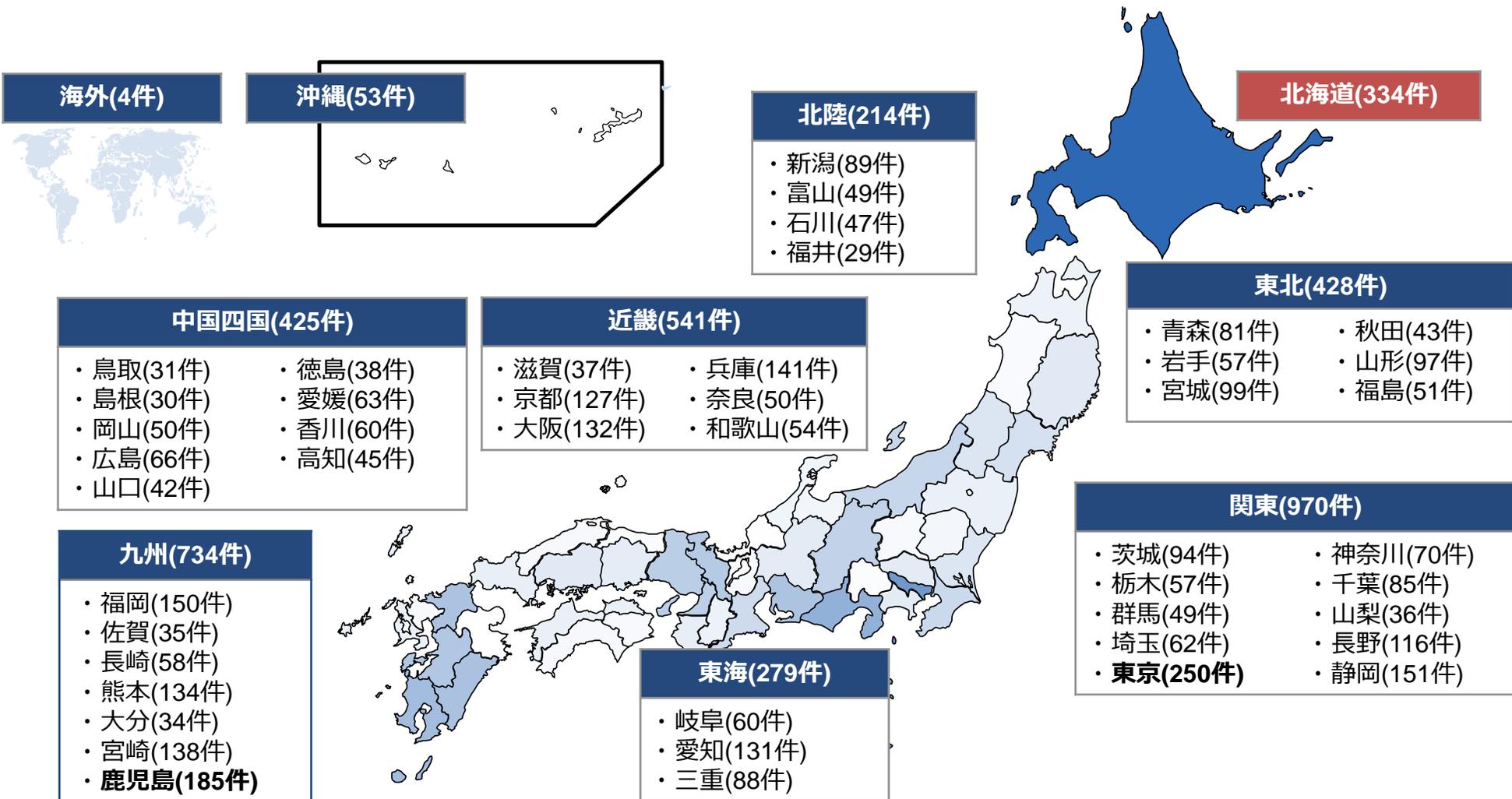
GFPを通じた輸出支援メニュー

輸出は“一歩目”のハードルが高いため、マッチングを通じた適切なビジネスパートナーの紹介・テスト輸出を通じた手続・ニーズ把握までを一気通貫で支援。



各地域のGFP登録数（生産者・加工食品メーカー）（1月17日時点）

都道府県別では、北海道(334件)・東京(250件)・鹿児島(185件)が登録者が多く、GFPネットワークの拡大・輸出産地形成が活性化している。



道内のGFP登録者数（1月17日時点）

農林水産・食品関連事業者

品目	登録者数
水産物	77
青果物	51
その他加工品	51
コメ・コメ加工品	41
畜産	28
菓子	24
調味料	14
酒類	14
製麺品	6
林産品	6
茶・飲料 花き・その他	22
合計	334

- 農林水産・食品関連事業者のGFP登録者数**全国1位**

農林水産・食品事業者以外

業種	登録者数
官公庁	29
コンサルタント	21
商社	33
卸売・小売	31
業界団体	13
物流	10
金融機関	5
広告・メディア	8
ECサイト	1
その他	27
合計	178

- 農林水産・食品事業者以外のGFP登録者数**全国3位**
 - 1位は東京(1030)、2位は大阪(215)

GFP北海道の取組



～GFP(ジー・エフ・ピー)とは～
Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Project
の略称であり、農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品の輸出プロジェクトです。

“GFP北海道”のミッション/Mission

北海道の生産者・メーカーの皆様、輸出へのチャレンジから
バイヤーとの商談まできめ細やかにサポートします！



輸出を新たに始めるに当たっての相談

- ✓ 輸出に興味はあるが踏み出せていない方は、輸出の可能性やポテンシャルについて気軽に相談できます！
- ✓ スタートアップ・産学官連携等、輸出促進に向けたコラボレーションにチャレンジできます！



GFP北海道 セミナー&商談会への参加

- ✓ 北海道からの輸出に繋がるチーム (バイヤー×輸出会社×生産者・メーカー)の一員になります！
 - ・先進輸出事例/今までにない輸出の取組をしている事業者の輸出事例をセミナーで共有
 - ・輸出会社・海外バイヤーとのマッチング機会を得られます。

GFPにおけるサポート内容

- ✓ GFPに登録することで様々な支援を活用できます！
 - ・輸出を始める際に必要な情報の入手
 - ・自分の商品の発信
 - ・ビジネスパートナーとのマッチング

登録
無料

GFPコミュニティを活用される方はまずはGFP登録を！
WEB : <https://www.gfp1.maff.go.jp/>



農林水産省
北海道農政事務所

01 | “オール北海道”で輸出拡大を目指す仕組み

北海道内輸出プレイヤーへの後押しを行い、つ、商社・海外バイヤーを巻き込んで輸出を見据えたチームづくりを促し、持続的な輸出拡大に結びます。



02 | 近日中のセミナー予定

北海道各地にて輸出プレイヤー及び産地への支援・輸出へのきっかけづくりを目的とし、商談会も兼ねたセミナー・交流会を旭川・帯広で開催します。札幌開催のセミナーでは各地の取組報告・フォローアップも兼ねて実施します。



<こんな方におすすめ！>

- ・これから輸出を始めたいけど、誰とパートナーを組んで進めれば良いかわからない・・・
- ・北海道産品の輸出の可能性を知りたい！
- ・次の輸出先国開拓のために、新たな商社と出会いたい！

各種イベント・輸出支援申込

支援申込フォーム
<https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1669304967KfCxZjF>



問い合わせ先

GFP北海道事務局(アクセンチュア株式会社)
メール: Agri_Exportation_JP@accenture.com
北海道農政事務所事業支援課 TEL : 011-330-8810

accenture

農林水産省
北海道農政事務所

2030年輸出5兆円目標の実現に向けた「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」の実施

【令和4年度補正予算額 42,609百万円】

<対策のポイント>

5兆円目標の実現に向け、官民一体となった海外での販売力の強化、マーケットインの発想で輸出にチャレンジする農林水産事業者の後押し、省庁の垣根を超えた政府一体となった輸出の障害の克服等を支援します。

<政策目標>

農林水産物・食品の輸出額の拡大（2兆円〔2025年まで〕、5兆円〔2030年まで〕）

<事業の全体像>

1 品目別輸出目標の達成に向けた官民一体となった海外での販売力の強化 【88億円】

(1) オールジャパンでのマーケットイン輸出の取組強化

- ・ 認定品目団体等が輸出重点品目についてオールジャパンで行う、輸出課題の解決や販路拡大等、早急な業界全体の輸出力強化に向けて行う取組を支援
- ・ J E T R Oによる輸出事業者サポート、J F O O D Oによる重点的・戦略的プロモーション、民間事業者等による海外販路開拓・拡大の取組等を支援
- ・ コメ・コメ加工品の海外需要開拓・プロモーションを支援
- ・ インバウンド消費と輸出の相乗効果を更に高めていくために必要な、日本食・食文化の情報発信や、魅力ある地域の食体験コンテンツの造成等を支援

(2) 海外での輸出支援体制の確立

- ・ 主要な輸出先国・地域において、輸出支援プラットフォームが輸出事業者を専門的かつ継続的に支援する体制を整備
- ・ 有望な海外市場への物流・商流づくりなどの戦略的サプライチェーンの構築を支援

等

2 マーケットインの発想で輸出にチャレンジする農林水産事業者の後押し 【94億円】

(1) 輸出産地・事業者の育成・展開

- ・ 都道府県やJ Aが先導する輸出向け生産の拡大に向けた大ロット輸出産地の形成や、G F P（農林水産物・食品輸出プロジェクト）を活用したスタートアップの取組等を支援
- ・ 輸出に取り組む事業者等へのリスクマネーの供給を支援

(2) 一貫したコールドチェーンによる輸出物流の構築

- ・ 輸出物流ネットワーク構築に向けた環境調査、輸出物流構築に向けたモデル実証、設備・機器導入等を支援

(3) 畜産物輸出コンソーシアムの推進

- ・ 畜産農家、食肉処理施設、輸出事業者等で組織するコンソーシアム（事業共同体）が取り組む、商流の構築や輸出先国の求めに応えるための取組、対米認定食肉処理施設における血斑発生低減に向けた設備の改良や導入等を支援

等

3 省庁の垣根を超えた政府一体となった輸出の障害の克服等 【244億円】

(1) 輸出促進に向けた環境整備

- ・ 畜産物モニタリング検査、インポートトランス申請、コメ・コメ加工品の輸出に必要な規制対応、海外模倣品対策等を支援
- ・ 加工食品の国際標準化対応や我が国の規格認証の普及等、輸出先国ニーズの対応に向け、食品産業の課題解決の取組を支援

(2) 輸出先国の規制や需要に対応した加工施設等の整備

- ・ 加工食品等の輸出拡大に必要な製造・加工、流通等の施設の新設及び改修、機器の整備を支援
- ・ 農産物等の輸出拡大に必要な集出荷貯蔵施設、コールドチェーン対応型の卸売市場等の整備を支援
- ・ 畜産物の輸出拡大を目的とした食肉処理施設の再編等を支援
- ・ 大規模な水産物流通・生産の拠点での共同利用施設・養殖場等の一体的整備、魚礁や藻場等の漁場整備を支援

(3) 日本の強みを守るための知的財産対策の強化

- ・ 海外における品種登録出願や模倣品対策を支援
- ・ 品種登録審査に必要な栽培試験施設の整備を支援

(4) その他

- ・ 木材製品等の国際競争力強化に向け、輸出先国のニーズに対応するための性能検証、販売促進活動やプロモーション活動、きのこの知的財産保護等を支援

22 等

2030年輸出5兆円目標の実現に向けた「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」の実施

【令和5年度予算概算決定額 10,871 (10,787) 百万円】

(令和4年度補正予算額 42,609百万円)

<対策のポイント>

5兆円目標の実現に向けて、官民一体となった海外での販売力の強化、マーケットインの発想で輸出にチャレンジする農林水産事業者の後押し、省庁の垣根を超えた政府一体となった輸出の障害の克服等の取組を支援します。

<政策目標>

農林水産物・食品の輸出額の拡大（2兆円〔2025年まで〕、5兆円〔2030年まで〕）

<事業の全体像>

1 品目別輸出目標の達成に向けた官民一体となった海外での販売力の強化

(1) マーケットインによる海外での販売力の強化

- ・ マーケットイン輸出の実現に向けて品目団体、JETRO及びJFOODOが連携して行う販路開拓、市場調査や商流構築などの輸出力強化に向けた取組を支援
- ・ 海外料理人の育成や日本産食材サポーター店の拡大、日本食・食文化に関する食体験コンテンツの磨き上げ等を支援
- ・ 食産業の海外展開を促進するため、官民協議会を通じて海外展開を支援

(2) 海外での輸出支援体制の確立

- ・ 主要な輸出先国・地域において、JETRO海外事務所等を活用し、在外公館等と連携して輸出支援プラットフォームを設置・運営し、輸出事業者を専門的かつ継続的に支援

等

2 マーケットインの発想で輸出にチャレンジする農林水産事業者の後押し

(1) 輸出産地・事業者の育成・展開・安定供給体制の強化

- ・ 輸出産地サポーター等を活用した輸出産地の育成、都道府県と連携し、輸出産地による輸出事業計画の策定や実行の取組を支援
- ・ GFPを活用した、産地・事業者への輸出診断や商流構築など輸出熟度や規模に応じた伴走支援、輸出支援プラットフォーム等と連携したセミナーなどの取組を支援
- ・ 輸出リスクに対応し、融資を円滑化するため、信用保証に係る保証料を支援

(2) 地域産業の強みを活かした加工食品の輸出の取組支援

- ・ 地域の食品産業を中心とした多様な関係者が参画した地域食品産業連携プロジェクト（LFP）を構築して行う、社会課題解決と経済性が両立する新たなビジネスを継続的に創出する取組を支援

等

3 省庁の垣根を超えた政府一体となった輸出の障害の克服等

(1) 規制の緩和・撤廃に向けた協議の加速化

- ・ 政府間交渉に必要となる情報・科学的データの収集・分析、輸出先国が求める植物検疫上の要求事項を満たすための体制構築等を実施

(2) 輸出手続の円滑化、利便性の向上

- ・ 研修等による実務担当者能力向上、人員の増強や検査機器の導入、輸出証明書の発行場所数の増加に向けた体制整備等を支援

(3) 生産段階での食品安全規制への対応強化

- ・ 輸出施設のHACCP等認定、畜水産物モニタリング検査、インポートトランス申請、国際的認証取得、施設登録規制への対応等を支援

(4) 輸出向け施設の整備

- ・ 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設や農畜産物の輸出拡大に必要な処理加工施設等の整備を支援
- ・ コンソーシアム（畜産農家・食肉処理施設・食肉流通事業者の3者で組織する事業共同体）が取り組む、食肉の流通構造の高度化等に必要な施設の整備等を支援

(5) 知的財産の実効的な管理・保護と海外流出の防止

- ・ 育成者権者に代わって行う海外への品種登録、侵害の監視や訴訟対応、海外ライセンス等の育成者権管理機関の取組、国内外におけるGIの侵害対応を支援

等

5兆円目標に向けた更なる輸出拡大を目指す

グローバル産地づくり推進事業

【令和5年度予算概算決定額 925 (954) 百万円】

(令和4年度補正予算額 1,695百万円)

<対策のポイント>

GFP（農林水産物・食品輸出プロジェクト）を通じて産地育成、安定供給体制の強化を図るため、輸出産地による**輸出事業計画の策定・実行支援**、**輸出診断や商流構築の実施**、**加工食品の輸出強化**、**輸出関連信用保証支援**、**輸出支援プラットフォーム等との連携**、**品目等の課題に応じた取組**等を行います。

<事業目標>

農林水産物・食品の輸出額の拡大（2兆円〔2025年まで〕、5兆円〔2030年まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. GFPグローバル産地づくり強化対策

① 輸出事業計画策定等の支援

都道府県と連携し、輸出産地形成を具体的に進めるための**計画策定・実行**、**生産・加工体制の構築**、**事業効果の検証**など、輸出産地形成を本格的に進める取組を支援します。

② GFPの取組強化

ア 輸出産地等の裾野を広げ海外市場に繋げるため、**産地・事業者への輸出診断や商流構築**など熟度や規模に応じた**伴走支援等**を実施するとともに、**輸出支援プラットフォーム等と連携したセミナー**などを実施します。

イ 輸出先国の植物検疫等の規制に係る**産地の課題解決**を支援します。

③ 加工食品の輸出強化への支援

重点品目の他、**包材規制・賞味期限延長**への対応、**代替添加物への切替え促進**、**地方農政局等を活用した事業者掘り起こし**等による輸出拡大を強化します。

④ 輸出ビジネス強化等支援

輸出事業者の更なる販路拡大に向け、**ECサイトの活用方法の検討**や**ECを活用した農林水産物・食品の輸出の実態**を調査します。

⑤ 輸出関連信用保証支援

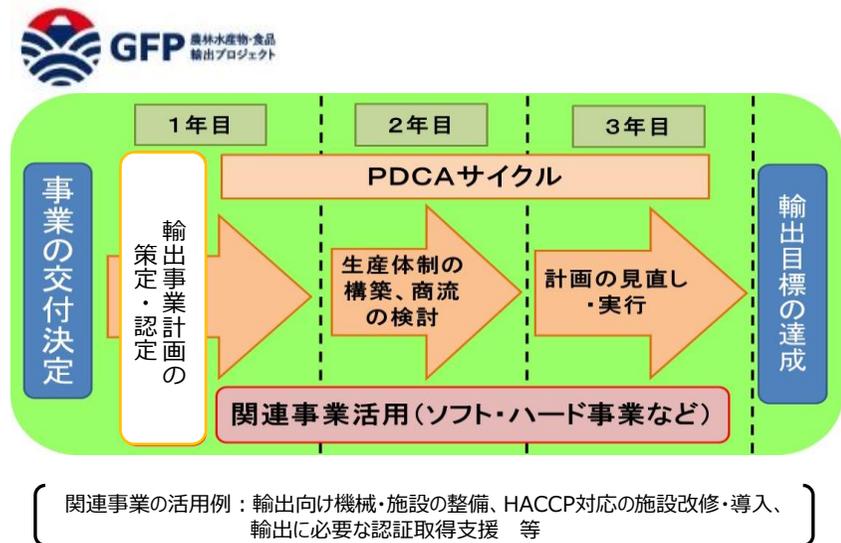
輸出リスクに対応し融資を円滑化するため**信用保証に係る保証料**を支援します。

2. 品目等の課題に応じた取組支援

<事業の流れ>



1. 輸出事業計画策定等の支援



2. 品目等の課題に応じた取組支援

- ① **日本発の水産エコラベルの普及推進**
国際水準の水産エコラベルの普及に向けた取組を支援します。
- ② **規格・認証を活用した加工食品の輸出環境整備**
国際規格であるJFS規格を活用した輸出を支援します。
- ③ **JAS等の国際標準化による輸出環境整備**
ISOや諸外国の国際標準化の状況等の調査、JAS等をベースとした国際規格の制定、専門人材の育成等を支援します。

輸出事業計画の認定を受けた者に対する関連事業の優遇措置等

(令和5年度予算概算決定時点)

※優先採択とは、審査に当たってのポイントの加算等

ハード事業

- 1 強い農業づくり総合支援交付金(産地基幹施設等支援タイプ) (優先採択)**
産地農業において中心的な役割を果たしている農業法人や農業者団体等による集出荷貯蔵施設や冷凍野菜の加工・貯蔵施設等の産地の基幹施設の整備等を支援。
- 2 農業農村整備事業等 (優先採択)**
農業の競争力強化のための農地の大区画化や汎用化・畑地化、新たな農業水利システムの構築、国土強靱化のための農業水利施設の長寿命化・耐震化対策、ため池の改修・統廃合等を推進。
- 3 農業競争力強化基盤整備事業 (補助率の嵩上げ)**
農地の大区画化や汎用化、農業水利施設の長寿命化やパイプライン化・ICT化等の整備に関する計画策定を支援。
- 4 林業・木材産業循環成長対策 (優先採択)**
川上と連携して木材の安定的・持続可能な供給体制の構築等に取り組む木材加工流通施設及び特用林産振興施設の整備を支援。

ソフト事業

- 1 マーケットイン輸出ビジネス拡大支援事業のうち戦略的輸出拡大サポート事業 (要件緩和)**
新市場の獲得も含め、輸出拡大が期待される具体的かつ横断的な分野・テーマについて、民間事業者等による海外販路の開拓・拡大の取組を支援。
- 2 木材製品輸出拡大実行戦略推進事業 (優先採択)**
製材・合板等の付加価値の高い木材製品の輸出拡大を図るため、中国・韓国・米国・台湾等における木造技術講習会の開催を支援するほか、企業の連携によるモデル的な輸出の取組を支援。
- 3 みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうち農林水産研究の推進 (優先採択)**
ブリの輸出拡大の実現に向けて、魚類血合筋の褐変を防止する革新的冷凍技術の開発を支援。
- 4 グローバル産地づくり推進事業のうち規格・認証を活用した加工食品の輸出環境整備事業 (優先採択)**
日本発の規格・認証を活用した輸出のための環境整備を支援。
- 6 輸出環境整備推進事業のうち**
 - ①施設認定等検査支援事業 (優先採択)
 - ②畜水産モニタリング検査支援事業 (優先採択)
 - ③国際的認証資格取得等支援事業 (優先採択)
- 7 植物品種等海外流出防止総合対策・推進事業 (優先採択)**
我が国優良品種の海外への流出・無断増殖を防止するため、品種登録 (育成者権の取得) や侵害対策に係る経費等を支援。
- 8 農業知的財産保護・活用支援事業 (優先的に調査)**
国内で開発された品種の海外での登録状況を一元的に把握し、海外における市場規模や侵害リスクを調査・情報発信する。
- 9 育成者権管理機関支援事業 (優先的に支援)**
植物新品種の海外での無断栽培を防止するため、育成者権者に代わって行う海外への品種登録、侵害の監視や訴訟対応、海外ライセンス等の育成者兼管理機関の取組を支援。
- 10 地理的表示保護・活用総合推進事業 (優先的に支援)**
海外での農林水産物・食品等のブランド保護のため、当該製品の名称の商標出願やGI申請・登録費用を支援。模倣品が確認された場合には、侵害対策を支援。
- 11 新事業創出・食品産業課題解決調査・実証等事業のうちフードテックビジネス実証事業 (優先採択)**
フードテック等を活用した新たな商品・サービスを生み出す、ビジネスモデルを実証する取組を支援。
- 12 持続的生産強化対策事業のうち**
 - ①果樹農業生産力増強総合対策 (優先採択)
 - ②茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進 (優先採択)
- 13 農家負担金軽減支援対策事業 (対象地区の拡大)**
担い手への農地集積が図られる地区等において、土地改良事業等の農家負担金の無利子貸付等を行う。
- 14 中山間地農業ルネッサンス推進事業 (優先採択)**
地域の所得向上に向けた計画を深化させる取組等の支援のほか、収益力向上、販売力強化、生活支援等に関する具体的な取組、デジタル技術の導入・定着を推進する取組を支援。
- 15 オープンイノベーション研究・実用化推進事業**
国の重要政策の推進や現場課題の解決に資するイノベーションを創出し、社会実装を加速するため、産学官が連携して取り組む基礎研究や実用化研究を支援。

令和4年度 GFPグローバル産地づくり推進事業 採択産地



中国四国ブロック(15産地)			
53	岡山県	全農岡山県本部	もも・ぶどう
54	山口県	やまぐちの農林水産物需要拡大協議会	日本酒
55		(株)阪東食品	かんきつ・かんきつ加工品・茶
56	徳島県	西地食品(有)	かんきつ・しょうが加工品
57		徳島魚市場(株)	ぶり・鮮魚・水産加工品
58		香川県漁業協同組合連合会	ぶり
59		石丸製麺(株)	麺類
60	香川県	大平やさい(株)	レタス
61		ヤマロク醤油(株)	醤油
62	香川県		冷凍麺
63		愛南漁業協同組合	まだい
64	愛媛県	愛媛県	すま
65		愛媛県漁業協同組合	ぶり・まだい
66		えひめ愛フード推進機構	かんきつ
67	高知県	高知米国市場開拓協議会	製材

九州・沖縄ブロック(30産地)			
68	福岡県	九州農産物通商(株)	かき・かき加工品
69		九州農産物通商(株)	かんきつ
70	佐賀県	うれしの茶グローバル産地協議会	茶
71	長崎県	(株)アグリ・コーポレーション	かんしょ・かんしょ加工品
72		対馬水産(株)	穴子・穴子加工品
73	熊本県	(株)杉本店	牛肉
74		(株)イチゴラス	いちご
75		大分県漁業協同組合	ぶり
76		大分県農業協同組合	ぶどう
77	大分県	大分県農業協同組合	かんきつ
78		日田木材協同組合	製材
79		(株)アキアファーム	ぶり
80		(株)ネイバーフッド	かんきつ
81		黒瀬水産(株)	ぶり
82		(株)かぐらの里	かんきつ
83	宮崎県	ジャパンキャビア(株)	キャビア
84		(株)高千穂ムラたび	甘酒・米菓子
85		南九州輸出茶コンソーシアム	茶
86		(株)MOMIKI	ソース混合調味料
87		(株)杉本商店	乾しいたけ
88		鹿児島堀口製茶(有)	茶
89		(有)かごしま有機生産組合	かんしょ・かんしょ加工品
90		東町漁業協同組合	ぶり
91		(有)大崎農園	だいごん
92	鹿児島県	鹿児島県経済農業協同組合連合会	かんしょ・かんしょ加工品
93		鹿児島県漁業協同組合連合会	ぶり
94		(株)宿指やさいの王国	かんしょ・キャベツ・レタス
95		大吉農園	キャベツ・かぼちゃ
96		枕崎水産加工業協同組合	かつお
97	沖縄県	琉球網料・瀬産養鶏場・エングループ輸出拡大コンソーシアム	鶏卵

北陸ブロック(18産地)			
29		にいがた有機農業輸出促進協議会	コメ
30		新・新潟米ネットワーク(同)	コメ
31		(株)想樹	梨
32	新潟県	新潟県酒造組合	日本酒
33		新潟米輸出促進協議会	コメ
34		(株)くにみ農産	コメ・かき・かき加工品・そら豆加工品
35		(有)エコ・ライス新潟	コメ
36		越後製菓(株)	コメ加工品・バックご飯
37		(同)新潟小規模蒸溜所	ウイスキー
38		弥彦村	枝豆加工品
39		(有)グリーンパワーなのはな	コメ・コメ加工品
40	富山県	(農)富山干柿出荷組合連合会	干柿
41	石川県	(有)わくわく手づくりファーム川北	クラフトビール
42		(株)エコファームみかた	梅酒
43		(株)ベントフォーク	コメ・コメ加工品
44	福井県	福井県農業協同組合	コメ
45		(株)マイセンファインフード	大豆加工品
46		(合)白龍シンフォニー	日本酒

(品目)

- 🐄 牛肉
- 🐓 鶏肉・鶏卵
- 🍌 果物
- 🌱 野菜
- 🍵 茶
- 🍷 酒類
- 🏠 コメ・コメ加工品
- 🌲 林産物(製材・キノコ等)
- 🐟 水産物
- 🏭 加工食品



北海道ブロック(7産地)			
1		新ブランド農産物生産組合 あつさぶ農匠	かぼちゃ
2		新篠津村農業協同組合	コメ
3		新篠津村農業協同組合	たまねぎ
4	北海道	栗山町日本酒輸出拡大連携協議会	日本酒・酒米加工品
5		十勝清水町農業協同組合	大豆・小豆加工品
6		中札内村農業協同組合	枝豆加工品
7		北海道産畜肉輸出産地形成コンソーシアム	牛肉・豚肉

東北ブロック(9産地)			
8		いわて農林水産物国際流通促進協議会	りんご
9	岩手県	いわて農林水産物国際流通促進協議会	牛肉
10		いわて農林水産物国際流通促進協議会	コメ
11		南気仙沼水産加工事業協同組合	サメ肉
12	宮城県	(株)ヤマナカ	牡蠣
13		石巻食品輸出振興協議会	水産加工品・鮮魚
14	秋田県	大潟村農産物・加工品輸出促進協議会	コメ・コメ加工品
15	山形県	朝日町果樹組合連絡協議会	りんご
16		(株)マンカウビル東北	りんご・もも

関東ブロック(12産地)			
17	茨城県	なめがたしおさい農業協同組合	かんしょ
18	埼玉県	狭山茶輸出促進協議会	茶
19	山梨県	アグベル(株)	ぶどう
20		(株)小池えのき	エノキタケ加工品
21		(株)フルプロ	りんご
22	長野県	(株)秀果園	りんご・ぶどう・ぶどう加工品
23		(有)小柳農園	コメ・コメ加工品
24		(株)MARUMAGO	茶
25		MATCHA KAORI JAPAN (株)	茶
26	静岡県	静岡市茶業振興協議会	茶
27		(株)流通サービス	茶
28		(株)かけがわ有機の郷	茶

東海ブロック(3産地)			
47	岐阜県	飛騨ミート農業協同組合連合会	牛肉
48		岐阜県農林水産物輸出促進協議会	かき・いちご
49	三重県	伊勢茶輸出プロジェクト	茶

近畿ブロック(3産地)			
50	京都府	京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会宇治茶部会	茶
51		「京の米で京の酒を」推進会議～京都酒米振興プロジェクト～	日本酒
52	和歌山県	紀北川上農業協同組合	かき

2030年輸出5兆円目標の実現に向けた「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」の実施のうち 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設の整備

【令和5年度予算概算決定額 152（600）百万円】
【令和4年度補正予算額 6,000百万円】

<対策のポイント>

食品製造事業者等が行う輸出先国等の規制・条件（食品衛生、ハラール・コーシャ等）に対応した**施設の新設及び改修、機器の整備**を支援します。

<事業目標>

農林水産物・食品の輸出額の拡大（2兆円〔2025年まで〕、5兆円〔2030年まで〕）

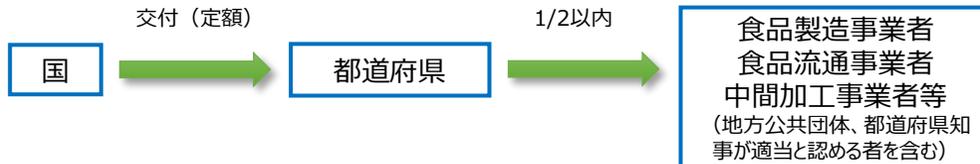
<事業の内容>

1. 加工食品等の輸出拡大に向け、輸出先国等の求める基準・条件等の規制に対応するため、**製造・加工、流通等の施設の新設（掛かり増し経費）及び改修、機器の整備に係る経費**を支援します。

- ① 輸出先国等の政府機関が定める、HACCP等の要件に適合する施設の認定取得に必要な施設・設備
- ② ISO、FSSC、JFS-C、有機JAS等の認証取得に必要な施設・設備
- ③ 検疫や添加物等の規制に対応した製品の製造に必要な施設・設備

2. 施設整備と一体的に行い、その効果を高めるために必要な**コンサルティング費用等の経費**（効果促進事業）を支援します。

<事業の流れ>



このほか、強い農業づくり総合支援交付金に輸出優先枠を設けるとともに、食肉流通再編合理化施設整備事業を含め農畜産物の輸出力強化に必要な処理加工施設等の整備を支援します。

<事業イメージ>



排水溝

施設の衛生管理の強化に対応する排水溝、床、壁等の改修



厳密な温度管理に対応する急速冷凍庫等の導入



空気を經由した汚染を防止する設備（パーティション）の導入



製造ラインにおいて添加物混入を回避する輸出専用ミキサーの導入

農林水産物・食品輸出基盤強化資金（日本政策金融公庫法の特例）

- 輸出にチャレンジする事業者を資金面から強力に後押しするため、制度資金を創設。
- ポイントは、
 - ① 輸出促進を目的に、**多用途にわたって有利に融資を受けられる独立の資金。**
 - ② **非食品の品目もカバーし、長期運転資金や海外子会社への転貸も可能にするなど多様なニーズに対応。**
 - ③ **償還期限は25年以内のため大規模投資に対応。**

資金の概要

- 1 貸付対象者** 認定輸出事業者（農林水産事業者、食品等製造事業者、食品等流通事業者等）
- 2 貸付限度額** 貸付けを受ける者の負担する額の80%に相当する額（民間金融機関との協調融資を想定）
- 3 資金使途** 改正輸出促進法に基づく認定輸出事業計画に従って実施する事業であって次に掲げるもの
 - ① 農林水産物・食品の輸出事業に必要な製造施設、流通施設、設備の整備・改修費用
例：EU向け水産物の輸出に必要なHACCP等に対応した加工施設の整備費用、ハラールに対応した食肉処理施設の整備費用、添加物等のコンタミネーションを防止するための製造ラインの増設費用
 - ② 長期運転資金
例：商品の試作品の製造費用、市場調査やニーズ調査に係る費用、サンプル輸出や商談会への参加に係る費用、プロモーション活動費、製造ライン本格稼働までに必要な増加経費（原材料費、人件費など）
 - ③ 海外子会社等への出資・転貸に必要な資金
（転貸に必要な資金の使途は①・②。）

4 償還期限

25年以内（うち据置期間3年以内）

（中小企業者は、10年超25年以内）

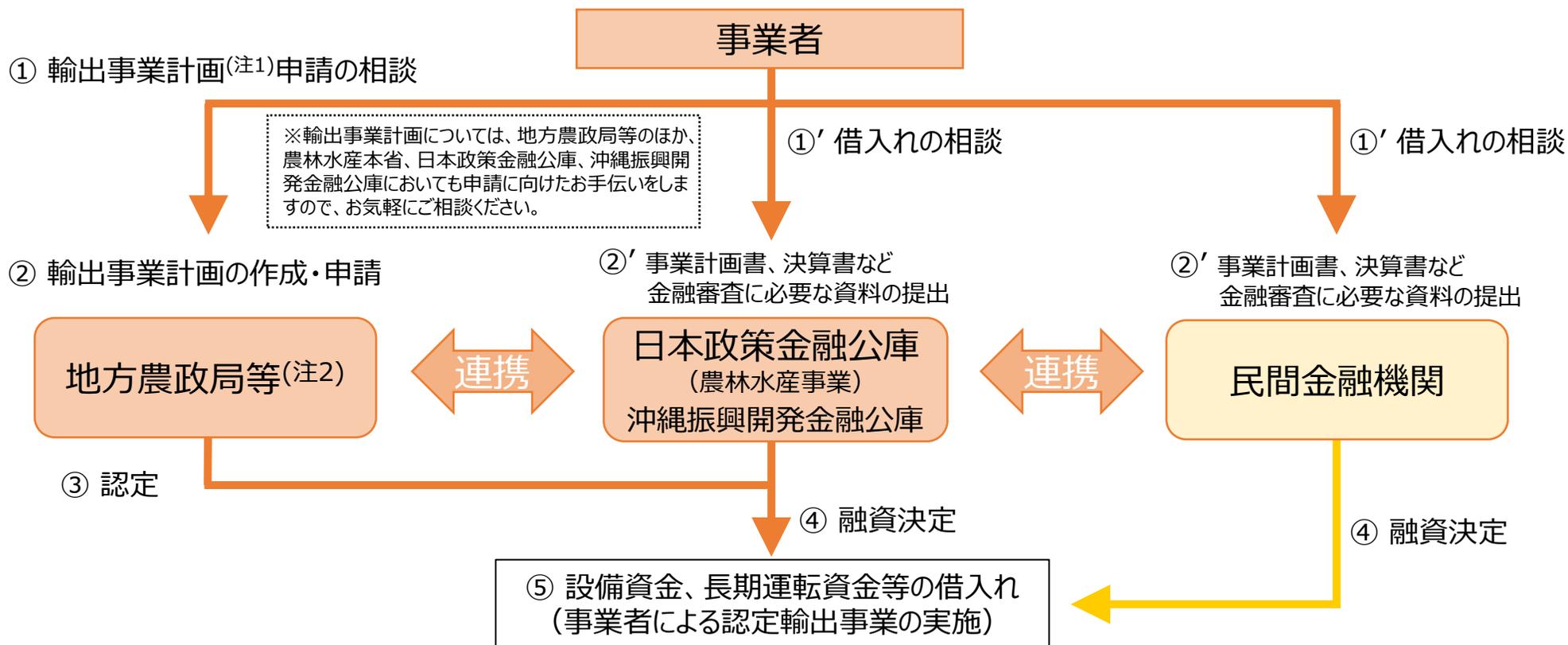


※民間金融機関から保証付き借入れをする場合、農林水産省の令和4年度予算事業により、支払った保証料のうち、借入当初から5年間、保証料の1/2相当額の支援が受けられます。

農林水産物・食品輸出基盤強化資金の借入手続きについて

- 公庫から農林水産物・食品輸出基盤強化資金を借り入れるためには、輸出事業計画を作成し、農林水産省（地方農政局等）から認定を受ける必要があります。
- 公庫・民間金融機関への借入れの相談と平行して、地方農政局等に対し輸出事業計画の申請に向けた相談を開始してください。
- 融資の決定に当たっては公庫による金融審査があります。

フロー図



(注1) 輸出事業計画とは、農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律に基づく計画で、輸出に関して今後取り組む内容として、「目標」「対象となる農林水産物又は食品及びその輸出先国」「内容及び実施期間」「実施に必要な資金の額及びその調達方法」等について記載するものです。

(注2) 輸出事業計画は、最寄りの地方農政局輸出促進課（北海道は北海道農政事務所事業支援課、沖縄県は沖縄総合事務局食料産業課）に提出してください。

農林水産物・食品の輸出拡大に向けた税制上の措置（租税特別措置法にて別途措置）

- 農林水産物・食品の輸出拡大に向けて、5年間の割増償却措置を講じ、設備投資後のキャッシュフローを改善することで、事業者の輸出拡大のための活動を後押し。

特例の概要

- 輸出促進法の改正を前提に、改正法の施行から令和5年度末までの間に、認定輸出事業者が輸出事業計画に従って機械装置、建物等を取得等した場合、当該資産について、
 - ① 機械装置は30%、
 - ② 建物及びその附属設備並びに構築物は35%の割増償却を5年間行うことができる。

特例の要件

- ① 導入した機械装置、建物等における輸出向け割合が年度ごとに定める一定の割合以上であること

年度	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
割合	15%	20%	25%	30%	40%	50%

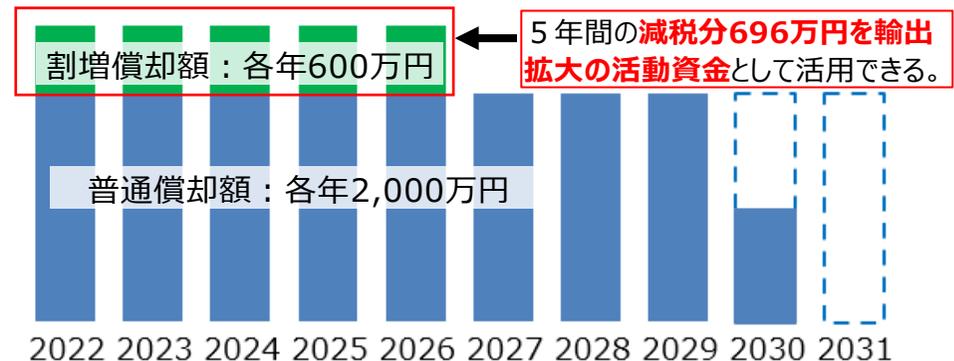
- ② 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業の対象でないこと
- ③ 農産物等輸出拡大施設整備事業による補助金を受けないこと

割増償却の効果

- 2億円の製造用設備（耐用年数10年）を導入した場合、設備導入後5年間において、2,000万円/年の普通償却額に加え、600万円/年※1の割増償却が可能となり、約139万円/年※2の法人税が軽減。

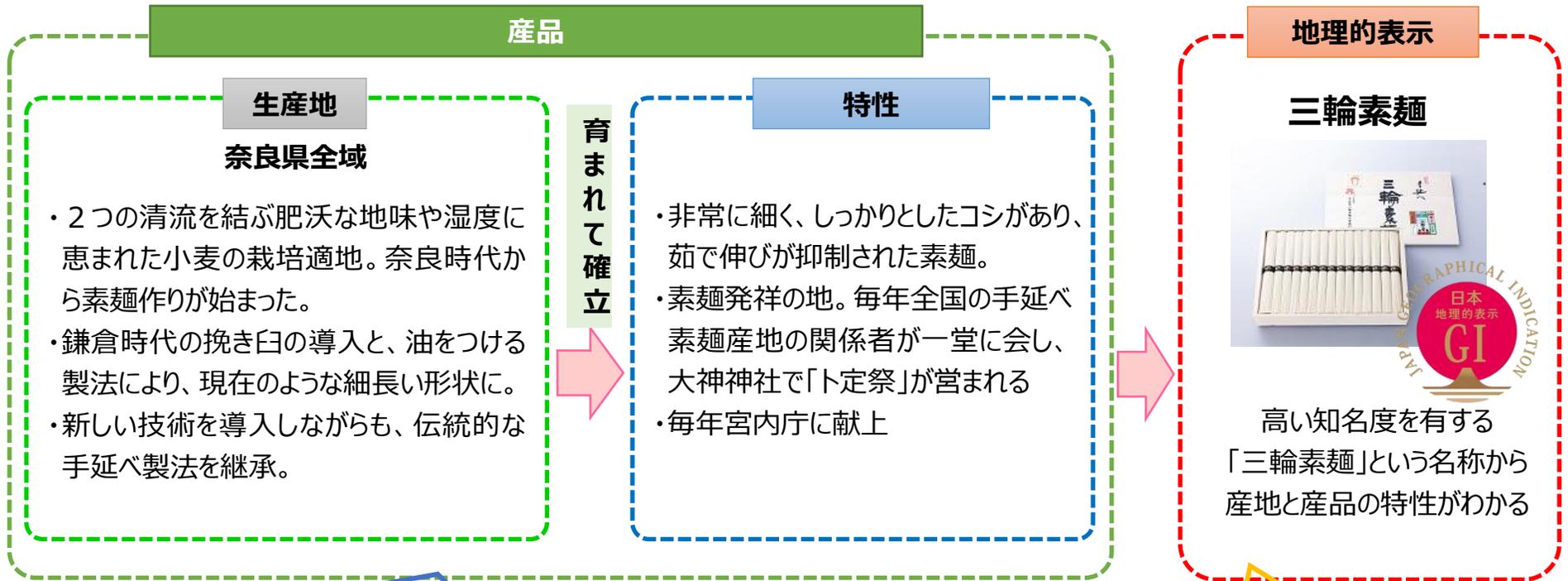
※1 普通償却額（2,000万円）×割増償却率（30%）＝600万円
※2 割増償却額（600万円）×法人税率（23.2%）≒139万円

特例の適用イメージ



地理的表示（GI：Geographical Indication）保護制度

- GI制度は、その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因・環境の中で長年育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する製品の名称を、地域の知的財産として保護するもの。外国との相互保護や模倣品対策の充実により、海外においても保護。
- ビジネスにおいては、地域と結びついた製品の品質、製法、評判、ものがたりといった潜在的な魅力や強みが見える化し、国による登録やGIマークと相まって、効果的・効率的なアピール、取引における説明や証明、需要者の信頼の獲得を容易にするツール。



- 地理的表示は、生産者団体が製品について登録を受け、構成員が使用。登録内容は明細書に記載。
- 登録を受けた生産者団体は、構成員が行う「生産」が、明細書に適合して行われるよう、必要な指導等を実施（生産行程管理業務）。

- 登録された地理的表示が不正使用された場合には、行政が取締り。

G I 登録の現状

117産品
(令和4年10月21日時点)

※「CraftMAP」を使用

北海道

- 【北海道】
4.夕張メロン
21.十勝川西長いも
86.今金男しゃく
92.檜山海参
101.網走湖産しじみ貝
120.ところピンクにんにく

東北

* 主な名称、主な生産地のみ記載

- 【青森】
1.あおりカシス 23.十三湖産大和しじみ
52.小川原湖産大和しじみ
75.つるたスチューベン
90.大鰐温泉もやし 105.清水森ナンバ
- 【岩手】
28.前沢牛 47.岩手野田村荒海ホタテ
66.岩手木炭 68.二子さといも
73.浄法寺漆 106.甲子柿
114.広田湾産イシカゲ貝
- 【宮城】
31.みやぎサーモン 65.岩出山凍り豆腐
104.河北せり
- 【秋田】
32.大館とんぶり 51.ひばり野オクラ
60.松館しほり大根 79.いぶりがっこ
93.大竹いちじく
- 【山形】
26.米沢牛 30.東根さくらんぼ
62.山形セルリー 76.小笹うるい
99.山形ラ・フランス
- 【福島】
63.南郷トマト 113.阿久津曲がりねぎ
118.川俣シャモ

九州

- 【福岡】
5.八女伝統本玉露
117.はかた地どり
- 【佐賀】
121.女山大根
- 【長崎】
61.対州そば
- 【熊本】
8.くまもと県産い草
9.くまもと県産い草畳表
67.くまもとあか牛
74.菊池水田ごぼう
88.田浦銀太刀
94.八代特産晚白柚
95.八代生姜
111.くまもと塩トマト
- 【大分】
22.くにさき七島蘭表
33.大分かぼす
- 【宮崎】
55.宮崎牛
64.ヤマダイかんしょ
- 【鹿児島】
7.鹿児島島の壺造り黒酢
46.桜島小みかん
57.辺塚だいたい
58.鹿児島黒牛
102.えらぶゆり
115.種子島安納いも

中国・四国

- 【鳥取】
11.鳥取砂丘らっきょう
70.大山ブロッコリー
72.こおげ花御所柿
80.大柴西瓜
- 【島根】
87.東出雲のまる畑ほし柿
91.三瓶そば
- 【岡山】
24.連島ごぼう
- 【広島】
83.比婆牛 84.豊島タチウオ
89.大野あさり
97.福山のくわい
- 【山口】
19.下関ふく 40.美東ごぼう
100.徳地やまのいも
- 【徳島】
42.木頭ゆず
- 【香川】
54.香川小原紅早生みかん
82.善通寺産四角スイカ
- 【愛媛】
10.伊予生糸
- 【高知】
96.物部ゆず

近畿

- 【滋賀】
56.近江牛
85.伊吹そば
122.近江日野産日野菜
- 【京都】
37.万願寺甘とう
- 【兵庫】
2.但馬牛
3.神戸ビーフ
78.佐用もち大豆
- 【奈良】
12.三輪素麺
- 【和歌山】
39.紀州金山寺味噌
108.わかやま布引だいこん

北陸

- 【新潟】
29.くろさき茶豆
81.津南の雪下にんじん
109.大口れんこん
- 【富山】
53.入善ジャンボ西瓜
98.富山干柿
112.氷見稻積梅
- 【石川】
17.加賀丸いも
20.能登志賀ころ柿
- 【福井】
14.吉川ナス
16.山内かぶら
43.上庄さといも
45.若狭小浜小鯛ささ漬
69.越前がに

関東

- 【茨城】
6.江戸崎かぼちゃ 38.飯沼栗 59.水戸の柔甘ねぎ
71.奥久慈しゃも
- 【栃木】
35.新里ねぎ
- 【東京】
77.東京しゃも
- 【山梨】
119.あけぼの大豆
- 【長野】
13.市田柿 34.すんき
- 【静岡】
18.三島馬鈴薯 36.田子の浦しらす
103.西浦みかん寿太郎

東海

- 【岐阜】
48.奥飛騨山之村寒干し大根 50.堂上蜂屋柿
- 【愛知】
49.八丁味噌 116.豊橋なんぶとうがん
- 【三重】
25.特産松阪牛

沖縄

- 【沖縄】
44.琉球もろみ酢

地理的表示保護制度の運用の見直し（概要）①

- GI制度について、農林水産物・食品の輸出拡大や所得・地域の活力の向上に更に貢献できるよう、多様な製品の登録につながるよう間口を広げるとともに、GI全体のプロモーションの在り方も波及効果の高いものに転換。

改正前

改正後

他産品と比較して品質的に優れていることを要件。

地域における自然的・人文的・社会的な要因・環境による品質、製法、評判等の特性が要件。

加工食品など一部県外の工場生産している場合、これらの地域全体を生産地として認めてこなかった。

それぞれの地域間のつながりに合理性が認められる場合には、これらの地域全体が生産地となる。

概ね25年の生産実績が必要。

産品の特性の周知の程度や模倣品発生の可能性の程度等を勘案し、25年の期間を短縮できる。

登録名称を分断する名称（例：霞が関手延うどん）をGI名称として認めていない。

名称としての同一性が認められれば、分断名称もGI名称として認める。

生産行程管理業務として、団体は、各生産業者が作成した生産記録を取りまとめて確認。年に1回、農水省にその実績を報告。

団体は、生産の方法を遵守するために必要な手順を定めて周知し、定期的に手順を検証する。実績報告は廃止。

GI産品の加工品へのGIマークの使用が抑制的。

GI産品の加工品であっても、加工品がGI登録されたものと誤認を招かない表示は使用できるようルールを明確化。

令和4年1月19日 設立

目的

全国のGI登録団体の団結を図り、GI登録団体の連携によるGI製品の販売や輸出等を促進することにより、GI登録団体の活動活性化とGI制度の認知度向上を図る。

構成

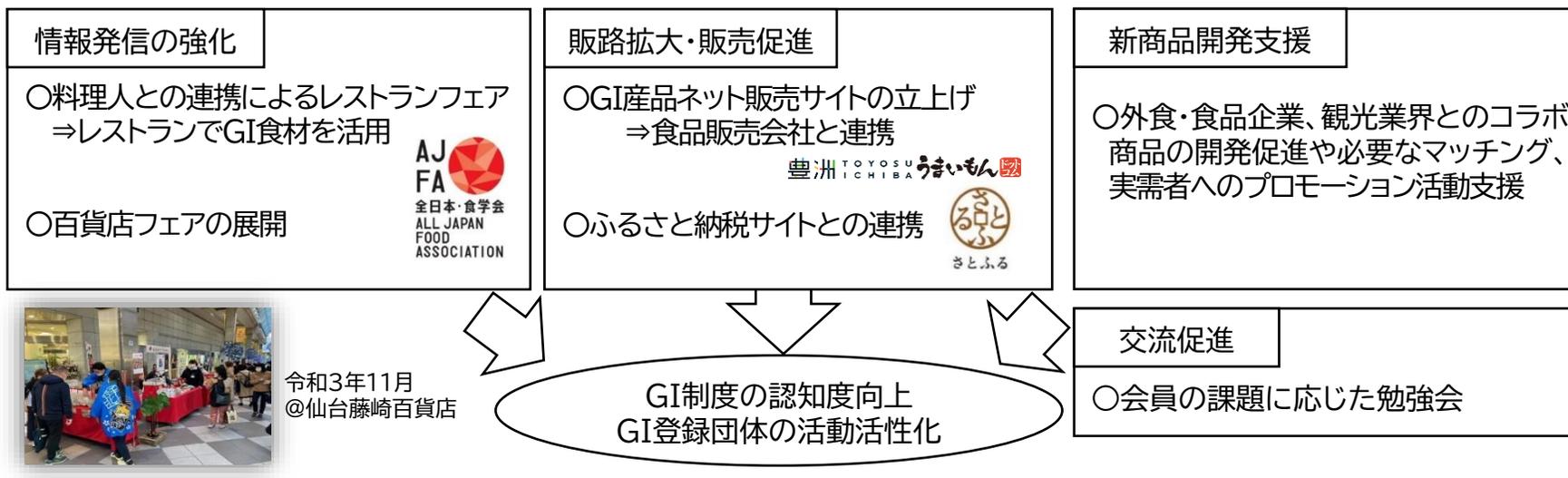
- ・ 顧問：森山裕氏(元農林水産大臣)
- ・ 会長：村田吉弘氏(一般社団法人全日本・食学会 理事長)
- ・ 副会長：寺沢寿男氏(みなみ信州農業協同組合 代表理事組合長)
- ・ 会員：GI登録団体(100団体)
- ・ 協力会員：GI登録団体の活動に協力する団体等(食品産業、料理人、商工、金融、流通、酒類GI、行政等)(99団体)



※令和4年9月末現在

活動

GI登録のメリットの拡大に向けて、関係業界とのコラボなど波及効果の高いプロモーション



GFP北海道 輸出セミナー&マッチング in 旭川

2023年1月27日(金) 13:00~18:00



北海道“食”輸出産地支援プラットフォーム

「Do★食輸出Platform」

ご紹介

1月27日 GFP旭川

北海道経済産業局 食・観光産業課

「Do★食輸出プラットフォーム」とは？

- 5つの行政機関の連携体。
- 北海道農政事務所・北海道経済産業局・札幌国税局・JETRO北海道（JFOODO）・中小機構北海道本部
- 北海道の農林水産物・食品の輸出拡大を目指します。

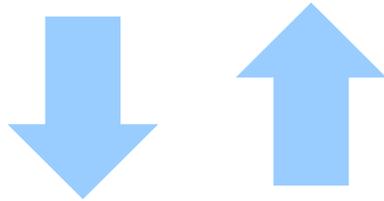
Do★食輸出Platformの特徴

ご相談は無料！

5機関連携でスムーズ！



事業者様



北海道農政事務所

JETRO
ジェトロ北海道

北海道“食”輸出
産地支援プラットフォーム

札幌国税局

JFOODO

Do★食輸出
Platform

Be a Great Small.
中小機構

経済産業省
北海道経済産業局

- 各機関が柔軟に連携
最適な施策をご提案・ご紹介します
- 「輸出エキスパート」
によるサポートが可能です

【例】経産局 支援メニュー

生産性UP
設備投資

ものづくり補助金

通常枠

海外展開を
目指す

ものづくり補助金

グローバル市場開拓枠
JAPANブランド類型

新分野展開
業態転換

事業再構築補助金

【例】経産局 支援メニュー

生産性UP
設備投資

ものづくり補助金

通常枠

ポピュラーな
補助金です！

- 革新的な製品・サービスの試作品開発や
生産プロセスの改善に必要な設備投資を支援
- 食関連事業者様の活用事例多数。生産プロセスの改善、
新製品開発にも！
- **補助上限額 750万円～1,250万円**

補助上限は従業員規模により変動。補助率は1/2、小規模事業者・再生事業者は2/3。詳細はHPを参照。

【例】経産局 支援メニュー

海外展開を
目指す

ものづくり補助金

グローバル市場開拓枠
JAPANブランド類型

内容が拡充
しました！

- 「グローバル市場開拓枠」 スタート。
- “JAPANブランド補助金”が1つの類型に。
- 「JAPANブランド類型」は通訳、翻訳費、海外旅、
広告宣伝・販促促進費も補助対象
- **補助金額** 100万円～3,000万円

補助率は1/2、小規模事業者2/3。詳細はHPを参照。

【例】経産局 支援メニュー

新分野展開
業態転換

事業再構築補助金

通常枠

3月24日
〆切り

- 新分野展開や業態転換による事業再構築を支援
- カフェ経営 → レトルト食品OEMへの新分野展開等
食関連事業での活用事例も！
- **補助上限額 2,000万円～8,000万円（通常枠）**

補助上限は従業員規模により変動。補助率は補助金額等により異なる。詳細はHP参照。

補助金活用の際は・・・

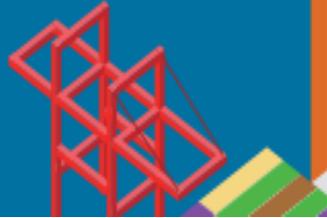
ご注意ください

GビズID等の
申請も忘れずに

- 今回ご紹介した補助金には その他要件等がございます。
- 補助金ご活用の際は、必ず**最新の「公募要領」**をご一読の上、要件や補助金額、補助率等を必ずご確認ください。
- **全ての事業者様が採択になるというものではありません。**
- ご不明な点は**【北海道経済産業局】の【食・観光産業課】**まで一度ご連絡ください。

新規輸出1万者支援プログラム

新規輸出1万者支援 プログラム



STEP1

まずはポータルサイトでご登録



STEP2

専門家から折り返しご連絡 & 個別カウンセリング

STEP3

支援策をご提案

登録するとものづくり補助金
グローバル市場開拓枠JAPANブランド類型
加対象に！

「輸出」と言っても・・・

うちの商品って輸出できるの？

まず何から始めたら良いんだろう

興味はあるけど対応できる人がいないな・・・

昔やってたけどあんまり売れなかったな～

輸出したらどんなメリットがあるんだ？



大丈夫です！

◎ まずは【ご相談】ください

◎ Do★プラメンバーが
お話を伺います

◎ ステップバイステップで少しずつ
取り組んで行きましょう！

Do★食輸出Platformへご相談ください

do.yusyutsu@maff.go.jp

までご連絡ください！

◎ 自治体や金融機関の皆様からの
ご質問・ご相談・セミナー連携・勉強会等も大歓迎です。

お問い合わせ先

本資料・経産省施策に関するお問い合わせ

北海道経済産業局 食・観光産業課（西坂・三木）

Tel : 011-736-9706

Email : bzl-hokkaido-shokukanko@meti.go.jp

Do★食輸出Platform全体に関するお問い合わせ

Email : do.yusyutsu@maff.go.jp

参考 : Do★食輸出Platform 構成機関別 お問い合わせ先

農林水産省北海道農政事務所 生産経営産業部事業支援課

TEL : 011-330-8810 / E-mail : do.yusyutsu@maff.go.jp

経済産業省北海道経済産業局 地域経済部 食・観光産業課

TEL : 011-709-2311 (内線2593) / E-mail : bzl-hokkaido-shokukanko@meti.go.jp

国税庁札幌国税局 課税部 酒類業調整官

TEL : 011-231-5011 (内線4502)

(独)日本貿易振興機構北海道貿易情報センター (ジェトロ北海道)

TEL : 011-261-7434 / E-mail : sap@jetro.go.jp

(独)中小企業基盤整備機構 北海道本部 企業支援部支援推進課

TEL : 011-210-7472

GFP北海道 輸出セミナー&マッチング in 旭川

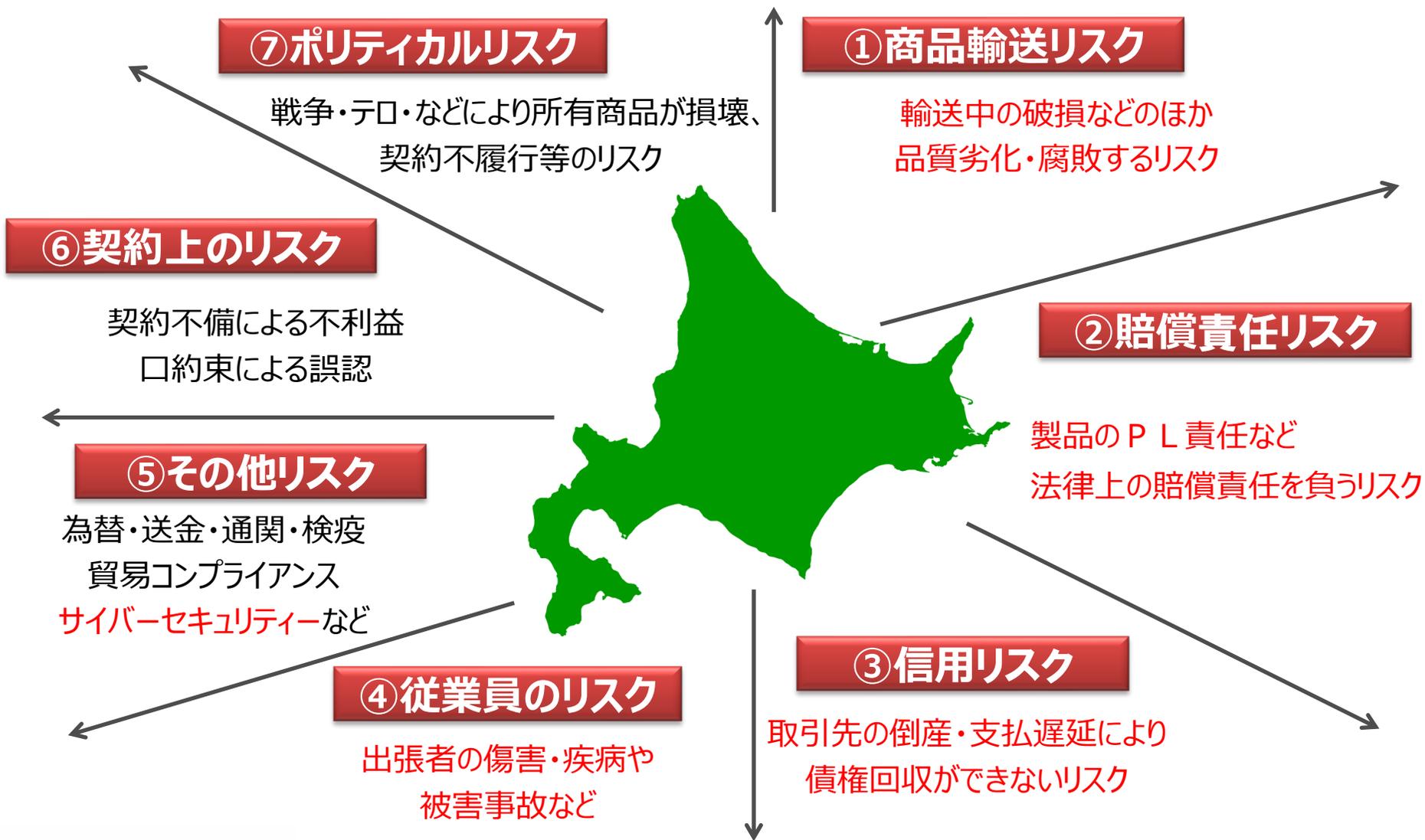
2023年1月27日(金) 13:00~18:00

食品輸出をめぐるリスクと対策

MS&AD

三井住友海上火災保険株式会社

食品輸出を取り巻くさまざまなリスク



立ちどまらない保険。

食品輸出を取り巻くリスクの対策例

リスク	対 策	
商品輸送リスク	<ul style="list-style-type: none">・ 貨物の性質に合った輸送方法の選択・ 食品輸送の経験豊富な業者の選定	外航貨物海上保険 (輸出食品専用保険)
賠償責任リスク	<ul style="list-style-type: none">・ 輸出先の法制度 (PL法制) の確認・ 現地でのPL事故例の確認・ 食品安全マネジメントシステムの導入	海外PL保険
信用リスク	<ul style="list-style-type: none">・ 取引先の財務内容の確認・ 安全な決済方法の選択 (前払・L/Cなど)・ 貿易保険 (NEXI) の活用	輸出取引信用保険
従業員のリスク	<ul style="list-style-type: none">・ 出張者に対する安全研修の実施・ 海外出張者規定などの整備	海外旅行保険(企業包括)
サイバーリスク	<ul style="list-style-type: none">・ 従業員への情報管理教育の徹底・ セキュリティー態勢診断の活用	サイバープロテクター
契約上のリスク 貿易コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none">・ ジェトロ等の専門家アドバイスを確認 (ジェトロHP 貿易・輸出入Q&Aなど)	

立ちどまらない保険。

リスク対策ツール＜商品輸送リスク＞

＜輸出食品専用保険（GFP会員専用プラン）＞



輸出食品専用保険の特徴

- 海上輸送（コンテナ入り）や航空輸送で輸出される食品を対象とする外航貨物海上保険です。
- 輸送中の偶然・外來の事故による貨物の損害を補償します。
- 輸出食品専用保険では、通常の外航貨物海上保険では補償されない**腐敗・品質劣化損害**や**温度変化損害**を含めて補償します。
- オプションで、**輸入不許可命令**が出されたことによって発生する損害についても年間100万円を限度に補償が可能です。

※Delivered（DAP, DPU, DDP）条件の場合は200万円が限度となります。

GFP会員プランの主な特徴

GFP会員プランでは、1事故あたりのお支払限度額を以下のとおり引き上げます。



一般プラン	500万円	1,000万円
GFP会員プラン	550万円	1,500万円(※)

(注1) 冷蔵・冷凍食品について、輸送中に生じた腐敗・品質劣化損害を補償します。
 (注2) 冷蔵食品について、リーファーコンテナの故障等偶発・外來の事故により、輸送中に発生した温度変化損害を補償します。
 (注3) 1輸送あたりのお支払限度額を参考に、1,500万円を上限として1事故あたりのお支払限度額を設定します。

本保険の対象となる貨物

温度帯	貨物の種類			
	青果物	水産物	畜産物	加工食品 （生・食入り、乾物）
常温	○		×	○
冷蔵（5度以下）			○	
冷凍（-15度以下）			○	

輸入者から損害の負担を要求された場合も補償

OIF条件では、輸出本船に貨物が積まれたあとは荷受人である輸入者がすべての損害を負担することとなりますが、梱包の不十分等を理由に、輸送中の腐敗・品質劣化損害や輸入不許可命令による返送・転送費用等[※]について輸出者である貴社が損害の負担を求められる可能性があります。このような場合に貴社が負担する損害を補償します。

※ただし、輸入不許可命令による費用・損害については、



補償事例

腐敗・品質劣化損害[※]

ドライコンテナ（冷凍・冷蔵装置のないコンテナ）でたまねぎを輸送したところ、輸入通関に想定以上に時間を要したことにより腐敗損害が発生！

損害額
550万円

保険金お支払い
495万円
（自己負担割合：10%を適用）



※ 見込み損害額が100万円を超える場合は、本割到着後10日以内に損害査定をご依頼ください。万が一、10日以内に損害査定依頼がされなかった場合には、1事故あたりのお支払限度額が100万円へと縮小されるためご注意ください。

温度変化による損害[※]

リーファーコンテナ（冷凍・冷蔵装置を有するコンテナ）でマグロを輸送したところ、リーファーコンテナの故障により解凍損害が発生！

損害額
1,500万円

保険金お支払い
1,500万円



※ ただし保険金の支払いにあたっては前述条件を満たしている必要があります。詳細は当社社員までご確認ください。

輸入不許可命令による損害[※]

輸入国政府から貨物を日本に返送するよう指示があり返送費用が発生！
爆発命令をうけオレンジを積載した結果、積落ち損害が発生！

損害額
100万円

保険金お支払い
90万円
（自己負担割合：10%を適用）



※ オプション特約のセットが必要となります。損害証明書の書類の不備や食品添加物等の特定の事由を原因とする損害は補償の対象となりません。詳細は当社社員までご確認ください。

保険料例

＜輸入不許可命令による損害を補償する特約のセットがない場合＞

	青果物	水産物	畜産物	その他加工品・アルコール類等
年間輸出金額	3,000万円	3,000万円	3,000万円	3,000万円
1事故あたりの支払限度額	温度変化損害：1,500万円 / 腐敗・品質劣化損害：550万円			
年間保険料	300,000円	350,000円	450,000円	350,000円

※ 上記補償例は、ご説明のもので実際ではありません。
 ※ このチラシは「輸出食品専用保険（GFP会員プラン）」の特典を記載したものです。一部の損害については保険金をお支払いしない場合があります。詳細については「外航貨物海上保険」のパンフレットおよび当会貨物特約をご覧ください。

三井住友海上火災保険株式会社
MS&AD INSURANCE GROUP

《お問い合わせ先》
 三井住友海上火災保険株式会社 北海道中央支店 旭川支社
 住所：北海道旭川市二条通9-2 2 8-2（旭川道銀ビル4階）
 TEL：0166-24-4137

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

リスク対策ツール＜商品輸送リスク＞

＜輸出ハンドブック＞

『生鮮青果物輸出ハンドブック』 を作成しました

MS&AD
三井住友海上

日本政府は、農林水産物・食品の輸出額を2019年には1兆円まで増やす目標を掲げて「農林水産物の輸出強化戦略」などに基き各種取組を実施しています。輸出額は2014年から5年連続で増加し、2018年実績では9,068億円（前年比+12.4%）となりました。また、世界的な和食ブームなども追い風となり、今後もさらなる輸出額の増加が見込まれます。一方で、農林水産物・食品は時間の経過とともに品質が劣化するという特性がありますので、輸送時に想定されるリスクや安全輸送のために留意すべき点が工業製品などとは異なるため、輸出にあたっては特に注意が必要な貨物といえます。

当社では、輸出貨物に関する保険事故の豊富な査定実績をもとに、今後ますます輸出の増加が見込まれる農林水産物・食品の中でも、特に生鮮青果物の安全輸送に焦点を当てたハンドブックを作成しました。これから農産物の輸出ビジネスの開始を検討される方だけでなく、既に輸出実績があり貨物の損害に悩まれている方々の輸送計画の検討・見直しに本ハンドブックをご活用下さい。

ハンドブックの概要

I. 輸出生鮮青果物を取り巻くリスク

品質劣化のメカニズム - 貯蔵限界、呼吸やエチレンによる劣化
生鮮青果物の特性を踏まえた輸送計画の重要性

II. 輸送開始前段階における留意点（海上輸送・航空輸送共通）

輸送計画
梱包、予冷 - 損害の事例とチェックポイント

III. 国際海上輸送における留意点

国際海上輸送について - 国際海上輸送の特徴、リーファーコンテナとは
使用するコンテナ - 損害の事例とチェックポイント
コンテナへの積み付け - 損害の事例とチェックポイント、CAコンテナとは
仕向国における荷扱い - 損害の事例とチェックポイント

IV. 国際航空輸送における留意点

国際航空輸送について
使用するコンテナ、梱包 - 損害の事例とチェックポイント
乗り継ぎ便における輸送途中の保管 - 損害の事例とチェックポイント
仕向国における荷扱い - 損害の事例とチェックポイント

V. 最後に



＜安全輸送ガイド（動画）＞

PART 1：輸出生鮮青果物を取り巻くリスクと輸送開始前の注意点
<https://ms-ins.pip-maker.com/?view=1gr0>

PART 2：国際海上輸送の特徴とコンテナのチェックポイント
<https://ms-ins.pip-maker.com/?view=p3p5>

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

リスク対策ツール<賠償責任リスク>

<海外PL保険>



立ちどまらない保険。
三井住友海上
MS&AD INTERRISK GROUP

2021年10月1日
以降始期契約用

海外輸出用

ビジネスプロテクター
海外生産物賠償責任保険

事業活動にかかわる損害賠償のリスクをカバー！



海外輸出ならではの
リスクに幅広く対応

事業者の皆さまをトータルサポート！

- 自動車事故の賠償
- 貨物の賠償
- 従業員のカガなどの賠償
- 船舶賠償
- 工場中の賠償
- 賠償責任の賠償

海外輸出品の賠償リスクに対応！

- お手続きは簡単
- 縦接輸出にも対応
- 納付の保険料

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

<PLレポート（食品安全）>

MS&AD InterRisk Report

No.22-041

2023.01.04

PLレポート(食品) <2022 No.3>

■「PLレポート（食品安全）」は年4回発行します。食品衛生や食品安全に関する最近の主要動向を国内トピックスとして紹介するとともに、解説コーナーでは「食品安全文化を醸成するための処方箋」と題し解説（全4回）を行います。

国内トピックス：最近公開された食品衛生・食品安全に関する主な動向をご紹介します。

○農林水産省「食品表示ミス防止、食品トレーサビリティ推進に関するテキスト」を公開

農林水産省は11月8日、食品表示ミス防止、食品トレーサビリティに関するテキスト2点を公開した。これらのテキストは、主に中小規模の食品事業者に対し、食品表示ミス防止、食品トレーサビリティ推進の観点から、取組みのポイントを解説したもので、同省は、2022年2月に農産物・農産加工品を対象としたテキストを公開していたが、新たに畜産物・畜産加工品を対象としたテキストを公開した。

①生食しない！加工食品の原材料表示（畜産加工品編）

食品トレーサビリティと原材料表示の適正化を一体的に取り組む際のポイントや、伝達・記載すべき書類について解説したテキスト。

本テキストは、畜産加工品を事例として解説しているが、製造の各段階における注意ポイントなど、畜産加工品以外の加工食品を製造する食品事業者にも参考となる内容となっている。

②事例に学ぶ！食品表示ミス防止のチェックポイント（畜産物・畜産加工品編）

食品事業者において、生鮮食品及び加工食品の表示ミス（名称、原産地、原材料名、原料原産地など）の事例と、考えられる防止策を対象項目別に紹介したもので、

本テキストは、畜産物やその加工品の中でも「食肉（生鮮）」、「食肉製品（加工）」、「酪農製品（加工）」の事例が取り上げられている。

それぞれの事例について、食品の製造・加工等の各プロセスにおいて生じやすいミスの概要、改善例、日常管理のポイントが掲載されており、表示に関する業務のチェックや改善のために活用されることを想定している。

コメント：

2022年4月から、国内で製造される全ての加工食品を対象に、重量割合上位1位の原材料の原産地を表示（加工食品の原料原産地表示）することが義務づけられている。原料原産地表示をはじめ、適切な食品表示を行うためには、食品表示法の表示義務を理解したうえで、内部トレーサビリティの取組を適切に行うことが重要である。

表示が適切でないことが判明した場合には、市場に流通している商品の回収が求められるが、回収には多額の費用が必要となり、特に中小企業にとって企業経営に与える影響は大きい。しかしながら、多くの中小事業者にとって、表示に関する法令等の正しい理解や回収の原因や、範囲を特定するための内部トレーサビリティの確立は、難しい課題となっている。

リスク対策ツール<信用リスク>

<輸出取引信用保険>

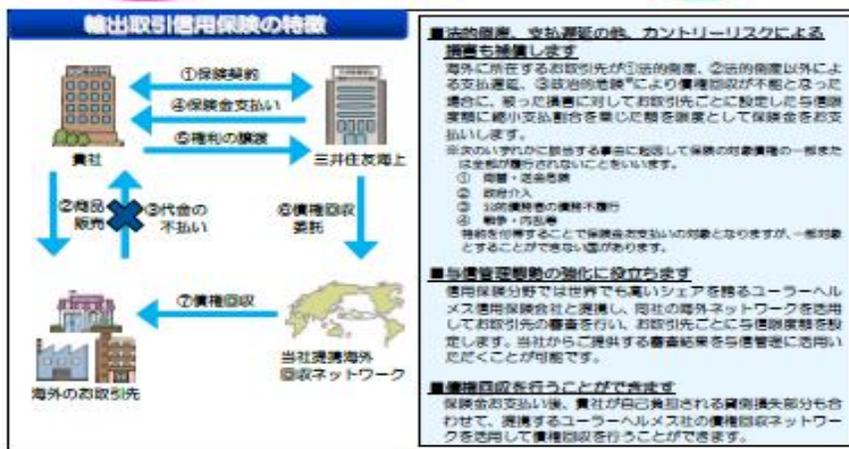
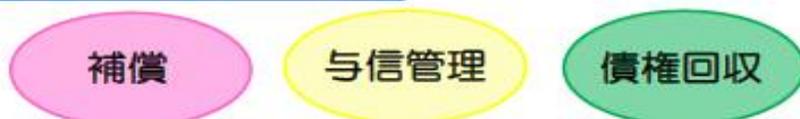
海外企業と輸出取引をされている皆さまへ 輸出取引信用保険のご案内

- 海外のお取引先の倒産リスク・代金不払いリスクに備えていますか？
- 海外のお取引先の与信管理において、不安やお悩みはないでしょうか？

 <p>与信管理を強化したい</p> <p>貸倒が発生したため、与信管理に不安を感じている。取引開始前にお取引先の情報を入手したり、万一の際に補償される方法はないだろうか。</p>	 <p>取引を拡大したい</p> <p>従来は前払いを原則としてきたが、競合も激しく、更に海外売上を伸ばすためには後払いも検討する必要がある。その場合、売掛金の回収ができるかも心配。</p>	 <p>事務手続を簡素化したい</p> <p>L/C（信用状）を手配しているが、個々の船積やお取引先について1件ずつ手配を行うため、事務手続が煩雑に感じている。簡素化できる方法はないだろうか。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

「輸出取引信用保険」をおすすめします！

輸出取引信用保険 3つの機能



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

<リスクグレード提供サービス>

無料

リスクグレードご案内サービスのお知らせ

海外取引先の与信管理でご不安なことはありませんか？

- ・弊社は、海外における取引信用保険分野で世界 No.1 の扱い実績があり、また豊富な海外企業情報を持つ「ユーラーヘルメス信用保険会社」と提携関係にあります。
- ・本サービスは、同社が設定している、個別企業へのリスクグレードをお知らせすることで、貴社の海外取引先の信用リスクを可視化するものです。ぜひご利用ください。

◎リスクグレード (Risk Grade (RG)) とは？

「ユーラーヘルメス信用保険会社」によって、グローバル統一基準をもとに提示された企業格付です。格付は、10段階評価です。原則として、RG8以下は与信が難しい状況とみなされます。

RG (Risk Grade)		備考
1	Exceptional	極めて高い信用力を有する大企業
2	Strong	1に準じる大企業（中堅企業も世界的に含まれる）
3	Good	（あらゆる企業規模の）優良企業
4	Above Average	業績好調で下方抵抗力も強い（借入金；少、純資産；厚）優良企業
5	Average	借入金は普通かやや多め、財務が健全なら1年程度赤字も許容
6	Below Average	下方抵抗力がやや弱い（借入金；多、純資産；薄、2期連続赤字など）
7	Weak	下方抵抗力が弱い（借入；過多、資本金；込み、3期連続赤字など）
8	Distressed	本来の回復見込みなし、債務超過、信用不安情報ありなど
9	Uninsurable	債務不履行の可能性が極めて高い
10	Failed	倒産企業（不審り、破産、会社更生法、民事再生法、特別清算）
NA	Not applicable	休眠会社、個人事業主など

◎ご案内サービスの利用料金は？

貴社の海外お取引先の上記リスクグレードを、**無料**でご案内いたします。

◎ご案内サービス申込に必要な情報は？

各お取引先の「社名」「住所」「所在国」（すべて英名）のご通知をお願いします。

貴社の与信管理に役立つ「リスクグレードご案内サービス」をぜひご利用ください。ご不明点等ございましたら、弊社営業担当までご連絡をお願いいたします。

以上

GFP北海道 輸出セミナー&マッチング in 旭川

2023年1月27日(金)

13:00~18:00

GFP北海道輸出セミナー& マッチング in 旭川

北海道・旭川からの 輸出拡大のポイント

1億人ではなく
100億人を見据えた
農林水産・食品産業へ

アクセンチュア株式会社
ビジネスコンサルティング本部

小栗 史也

GFP北海道輸出セミナー&マッチングのコンセプト

産地掘り起こし・輸出機運の醸成・商談機会の創出を目的としたセミナーを開催し、国内外の商社・バイヤーを招いた個別/グループ商談会・交流会を実施予定。

セミナー



新たな輸出産地の掘り起こし・各地の輸出機運醸成

- 輸出を取り巻くトピック・支援メニューの解説を実施
- 北海道からの先進輸出事例の紹介を実施

個別/グループ商談会



バイヤーの道産品ファンづくり・成約に繋がる“新たな商談会”

- 商社・海外バイヤーを招へいしつつ、成約に繋がるマッチング・ディスカッションを実施
- グループ商談と個別商談を組み合わせて実施

交流会



国内外の商社・バイヤー・シェフ等を招いたメニュー検討

- 持参頂いた産品をその場で試食しながら、取扱いに向けたメニュー検討・展開方法を検討
- 多様な参加者間でのコラボレーションを創出

GFP北海道輸出セミナー&マッチングin旭川

登壇事業者様

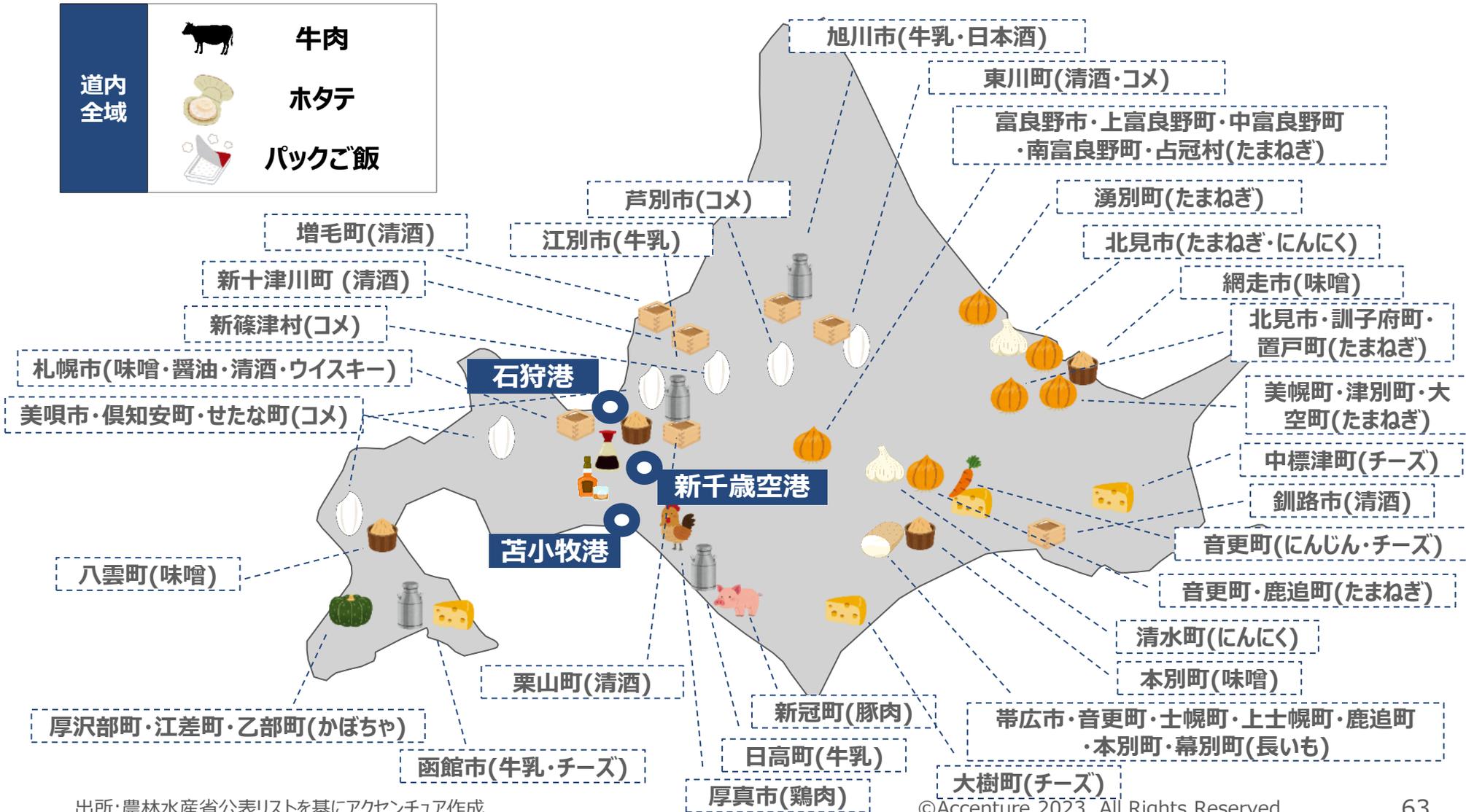
- JAひがしかわ(農協)
- 滝川地方卸売市場(卸売業者)
- とかち製菓(スイーツ/メーカー)
- 札幌パークホテル
(スイーツ・ミールキット/ホテル)
- SS GLOBAL(輸出商社)

参加バイヤー様

- SS GLOBAL(輸出商社)
- 北海道総合商事(輸出商社)
- 九州農水産物直販(輸出商社)
- 柴沼醤油インターナショナル
(メーカー/輸出商社)
- 四洲集団(香港：輸入商社)
- SGM(台湾：輸入/現地製パン・卸売)

(参考) 道内輸出産地の所在状況

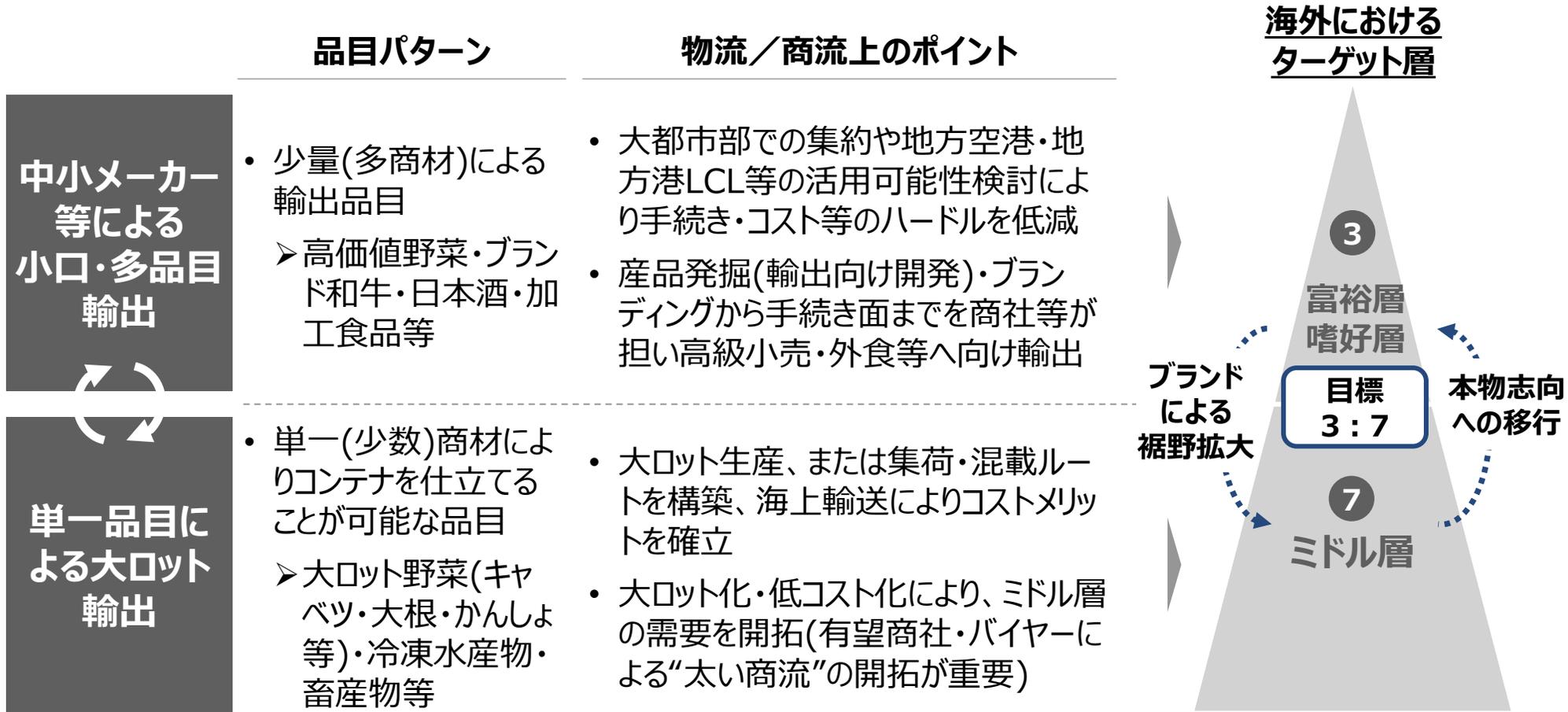
北海道からは全11品目35産地64事業者が輸出産地リストに掲載されており(令和3年12月時点)、道内全域にわたって産地が数多く所在している。



出所:農林水産省公表リストを基にアクセンチュア作成

大ロット・小ロット両輪による輸出拡大

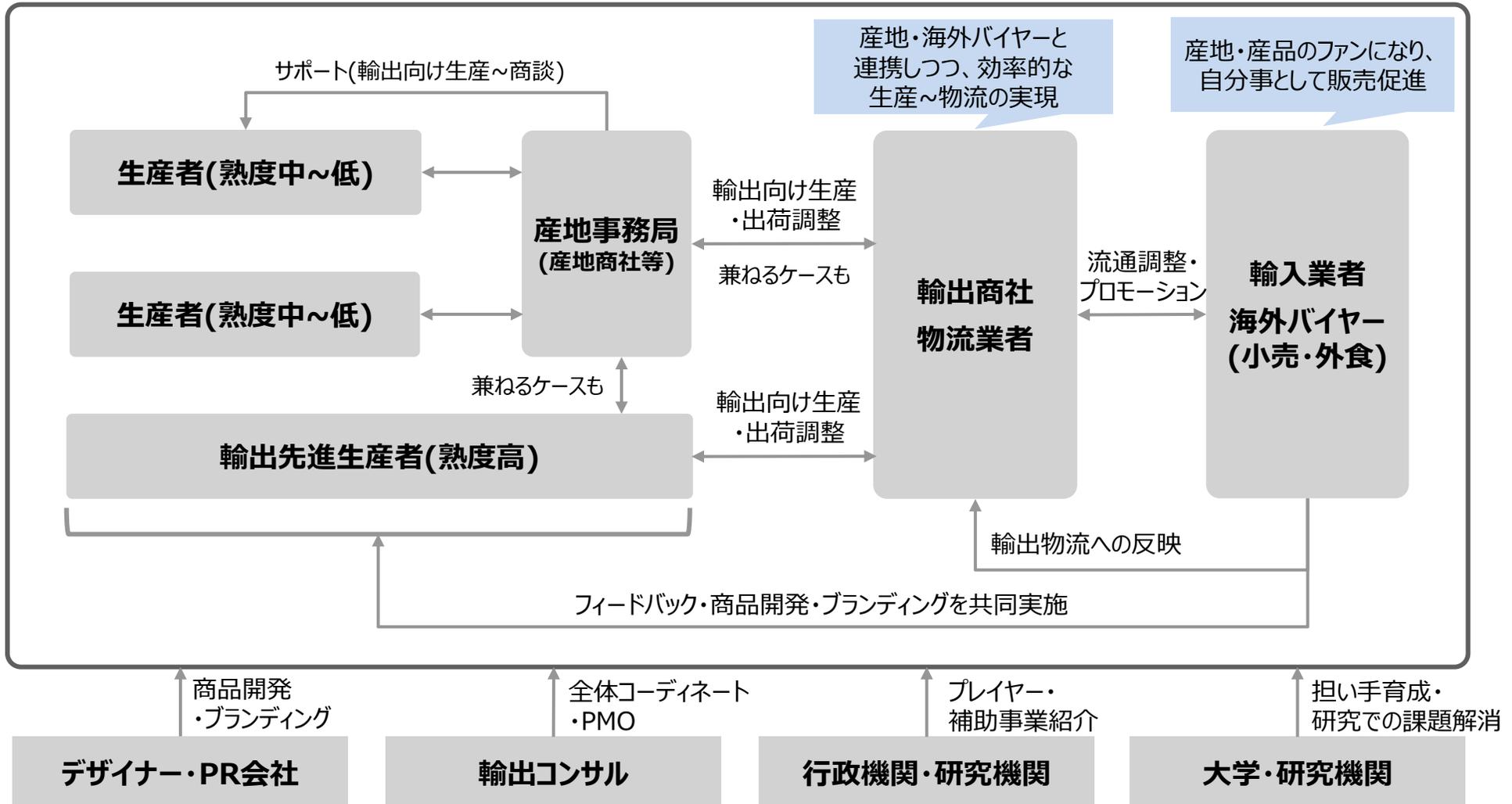
富裕層・嗜好層向けの小ロット輸出を支えるとともに、コストメリットを確立・ミドル層向けの市場開拓と並行した大ロットの輸出商流・物流を構築。



小ロット・大ロット両面での輸出ルート構築を推進、相乗効果による輸出拡大を図る

輸出における“チームづくり”の重要性

“出口”となる海外バイヤーを含めたチームづくりを行うことで、海外ニーズを生産・流通へ反映できる仕組み・コーディネートする商社・輸出コンサル等の存在も重要。



(参考) 九州地域におけるチーム形成 (今年度実施中)

九州地域においても業種間チームの形成及びスタートアップの開拓・支援を推進しており、有望事例の横展開・及び両地域の円滑な連携推進が可能。

GFP輸出ベンチャー塾 in南九州



青果セミナー&マッチング in南九州



GFP輸出ベンチャー塾 in福岡(11月)



- 南九州におけるキープレイヤー(産地・商流・物流・行政等)/輸出スタートアップを参集、輸出実践に向けた具体の連携体制づくりを実施
- 新たな輸出を目指す青果物産地と九州内外の有力商流とのマッチングを実施、商社取りまとめによる近隣産地のチーム形成も促進
- 品目別の輸出に向けた課題等について系統系の産地等も巻き込みつつ幅広に議論、北部九州を中心にオール九州での連携を目指す

過去イベント・その後継続支援等を通じて“GFP九州(仮)”の素地となるチーム形成を推進中

輸出商社/海外バイヤーを巻き込んだ“新しい商談会”

商社/海外バイヤーを巻き込んで現地ニーズ起点での商品PR・メニュー検討を共創する形の“新しい商談会”を実施することが、道産品の“自分ごと”化を促す。

バイヤー招聘・ワークショップ・商談



メニュー提供・試食
(レストラン・テストキッチン)



ワークショップ
(メニュー・ブランディング検討)



産地紹介
(産地ツアー・視察アレンジ)



連携

GFP北海道
支援チーム

新たな商品発掘・取扱検討

輸出メニュー開発・試食

ライブコマース・SNS発信



バイヤー・シェフ
インフルエンサー



バイヤーの北海道ファンづくり・“自分ごと”としての
商品開発～販売促進、海外消費者への発信

バイヤー等の北海道招聘

北海道ブランドの高い評価

北海道ブランドに対する海外事業者の引き合いは強く、商品だけでなく地域ブランド・ストーリーの訴求もプロモーションの要諦。

事業者ヒアリング結果

- 食にこだわりを持つ香港人は、“本物”の商品を好む。その為、**地域ブランド**を持っている商品は人気が高い
- 例えば、**北海道アイスクリーム**や**北海道ほたて**、**北海道スイートポテト**、**沖縄黒糖**、**京都抹茶**

外資系卸売業者(日本法人)

- 日本の各地域の“**ご当地感**”のある商品を現地小売は期待している
- 「**北海道産**」という地域ブランドは香港でも強いと感じている。特に**北海道産牛乳**は人気である

輸出商社

- 商品売るのではなく**ストーリー**を売った方がよい (Don't sell a product, sell a story)
- **北海道**や**沖縄**、**福岡**等、香港人が旅行へ行き、食のイメージが強い産地の商品は“**美味しい**”というイメージもあり人気が高い

現地系スーパー(展開国：香港・台湾等)

- “**ご当地商品**”は積極的に取り扱っており、特に北海道は**北海道コーナー**を設けているため、コーナー向け商品を探している
- **富士山関連商品**や**北海道・沖縄**の原料を活用した加工食品や店舗で最終加熱する各地の名物商品を使った加工品もニーズ高い

日系スーパー(展開国：シンガポール・香港等)

中国視察結果 ～北海道スイーツ

北海道スイーツは日系小売以外に、現地系アッパーミドル向け小売でも取り扱っている。北海道ブランドへの評価・信頼は高く、贈答用の商品が多い。

日系小売



- 日本の贈答用菓子の棚で北海道スイーツを取り扱っている。
- 北海道産スイーツの多くに「北海道」や「札幌」の文字が目立つように記載
- 主なメーカーは石屋製菓、北見鈴木製菓、きのとや、高橋製菓、わかさや本舗など

現地小売



- 現地系ハイエンドスーパーではROYCE専用カウンターで日本産ROYCE商品を取り扱い
- 現地系のアッパーミドル向けスーパーでは、白い恋人、ルタオ、東京ミルクチーズ工場等北海道の代表的商品を取り扱っている
- 代表的な「白い恋人」は贈答用の包装で目立つように陳列

中国視察結果 ～北海道スイーツ

北海道産は知名度が高く、乳製品のブランド価値が特に高く、原料切替による付加価値創出に向けても有効。



ー日本酒アイスクリームー

獺祭×アイスのコラボ商品

- 日本食レストランチェーン“赤坂亭”ではデザートメニューとして獺祭アイスが提供されている
- 原材料に“純米大吟醸酒粕”を使用。製造元は北海道の冷菓メーカー。中国でも人気の日本酒“獺祭”とアイスクリームのコラボ商品として目新しさが受けている

ーチーズケーキ・パンー

北海道産乳製品のスイーツ

- 北海道産チーズケーキ“LeTAO”や“プティ・メルヴィーユ”などが有名。LeTAO実店舗が中国で多くオープン。若い女性を中心に支持
- 北海道シュークリーム専門店“ZAKUZAKU”は中国各地に複数出店。常に行列ができるほどの人気

道産野菜を活用したメニュー提案

野菜の輸出拡大に向けては、「海外シェフと連携した現地料理への活用提案」と「日本食を土台にしたオススメ料理のローカライズ」の両輪が必要。

現地料理 × 日本産野菜



- フルーティな甘さを持つ黒にんにくを、パンに練り込む「黒にんにくチーズベーグル」等、台湾のインフルエンサーシェフと連携した、現地に合うメニュー開発（JA十勝清水）
 - 黒にんにく × チーズベーグル
 - 黒にんにく × 海老のアヒージョ

日本食（ローカライズ） × 日本産野菜



- 日本の食文化の土台を崩さずに、現地消費者に好んでもらえる味付けを意識した日本食メニューでの日本産野菜の活用
 - おでん × 大根等
 - 寿司 × 野菜
 - ラーメン × ネギ

道内港湾の活用に向けた方向性（例）

既存の小口混載事業の活用に向けた議論から、荷量の確保を安定化・必要なインフラを整備するための事業者間連携を促進。

小口混載支援事業の活用を端緒とした事業者間の連携の推進

活用港

苫小牧港

品目

ホタテ・野菜・コメ・冷凍食品・牛乳/乳製品

方向性

- 小口混載事業の利用拡大促進
 - PR強化、事業者ネットワークの構築等
- 商社の育成・試験的輸出に向けた支援(PR補助等)
- 輸出量を考慮した冷凍/冷蔵倉庫の更なる拡充
- 港湾までのサテライト拠点設置等、道内物流の効率化

道内空港の活用に向けた方向性（例）

航空輸送に適した高付加価値の品目を新たに模索し、品目の多様化による輸送ロットの安定化を図る。

オール北海道による多品目化・安定したロット確保に向けた物流の構築

活用港

新千歳空港

品目

ホタテ・メロン・畜産/畜産加工品・高付加価値野菜
乳製品・カニ・なまこ・活魚/活貝・スイーツ等

方向性

- 航空輸送向け高付加価値品目の多様化・ロット拡大に向けた商品開発・トライアル輸出
- 商社の育成・試験的輸出に向けた支援(PR補助等)
- 冷蔵/冷凍倉庫、上屋施設(“ひさし”等)の更なる拡充

輸出に関心のある皆様
GFPへの登録・事務局へのご連絡を
お気軽にお願いします！



農林水産物・食品
輸出プロジェクト

こんな方にGFPは最適です！

- 輸出をしたいけど、どうしたらいいかわからない！
- ビジネスパートナーを探したい！
- 輸出に関わる情報を効率よく入手したい！

GFPを通じた成約事例も続々と出ています！

登録
無料

参加を希望する方はまずはメンバー登録を。

WEB : <http://www.gfp1.maff.go.jp>
agri_exportation_jp@accenture.com



「GFP北海道輸出セミナー&マッチングin旭川」

輸出事業への取組と
「グローバル産地化」への挑戦

JAひがしかわ営農販売部

海外販路拡大推進担当 山下裕輝

◆JAひがしかわ 概要

地域の米生産者を取り纏め、東川町のブランド米「東川米」を中心に、各地域の需要や生活様式に合った商品(パックご飯や日本酒等)を7か国・地域に輸出。



- 豊富な地下水を持つ東川町の環境を強みに、地域独自の品質管理を行うことで東川産のコメ「東川米」をブランド化
- 国内の主食用のコメの消費が減少する中、生産者の収入を安定的に確保するため、輸出用米や輸出向け加工食品用の米の生産を開始
- 精米や玄米の輸出だけでなく、輸出先国・地域の生活様式に合わせて、パックご飯や日本酒等の輸出も行う予定



◆JAひがしかわ輸出実績

当JAは2009(平成21)年より東川米の輸出を開始し、現在では6か国・地域に約270トンの海外輸出を行っています

東川米・コメ加工品の輸出実績

産年/輸出国	2019(令和元)年	2020(令和2)年	2021(令和3)年	2022(令和4)年
台湾	18.00トン	21.00トン	26.00トン	24.00トン
ロシア	2.00トン	2.00トン	(2.00トン)※出荷停止	—
中国	—	20.40トン	20.40トン	20.40トン
香港	—	—	163.20トン	183.50トン
フィンランド	—	—	—	15.40トン
モンゴル	—	—	—	18.36トン
シンガポール	—	—	—	10.20トン
ブラジル	—	—	—	0.12トン
合計	20.00トン	43.40トン	209.60トン	271.98トン



新市場開拓米制度を活用し、**輸出向け専用契約圃場**を設置。国内流通規格と同等以上の高品質米を生産・出荷しています



ブラジル向け出発式(R4.4.21)
※ジェットロほか関係者

今年よりブラジルへ日本酒輸出を開始。今後はパックご飯の輸出を開始します

◆輸出事業への取組 ～ロシア

コメ食文化の認知・消費喚起・需要拡大に向けた販売促進活動

2017（平成29）年12月

東川米や米菓など、日本産品に触れる機会を創出するため、現地における料理教室、試食会の開催



2018（平成30）年6月

本町との親交がある歌手 加藤登紀子さんとタイアップし、海外コンサート会場で販売促進や日本農業の説明など実施



- ロシアはじめコメ食文化がない国には、**先手で”本当に美味しいコメ”の食体験**を与え啓蒙することで他国産と差別化しやすくなる

◆輸出事業への取組 ～ロシア

2019年（平成31年）2月

日本食レストランでの東川米（おにぎり・寿司）調理、試食会の開催



2019年（令和元年）12月

JAで考案した「ひがしかわボール※」の商品化と、現地 大学生100名を対象にしたモニター調査の実施

※東川米と現地の高級食材を組み合わせた当該国のコメ料理（日本米の美味しさを世界へ伝達する商品）



◆輸出事業への取組 ～台湾

2019年（令和元年）12月

台湾企業との新規取引開始に向けた試食会、商談会の実施。また、東川町制作の映画「写真甲子園0.5秒の夏」上映会 来場者200名に東川米（おにぎり・稲荷寿司）の無償配布



- 台湾は日本産米含め競合が多く、価格競争にならざるを得ないため、**生産背景（栽培に使用する水の品質 等）含めたブランディング**が必要

◆グローバル産地化計画

当JAでは、2025(令和7)年までの3年間で新規輸出国5か国、現輸出先と合わせ計10か国以上の海外進出を計画し、総輸出量1,000トンを以上を目標に事業を展開させています

海外事業展開にあたっては、「**輸出事業計画**」の設定、「**GFPグローバル産地計画**」の承認を目指し、JA単位でのお米・コメ加工品での仕向け先数や輸出量「**日本一のグローバル産地化**」を目標に事業を取り進めます

【日本一のグローバル産地化へ向けた目標】



【新規仕向け国(目標)】

- ウズベキスタン
- フィンランド
- タイ
- イギリス
- アメリカ
- 南アフリカ

上記6か国への輸出を2025(令和7)年までに実施。

日本の食文化の魅力や美味しさ、健康・美容を世界に発信します！

◆現在の輸出実績と今後の輸出目標

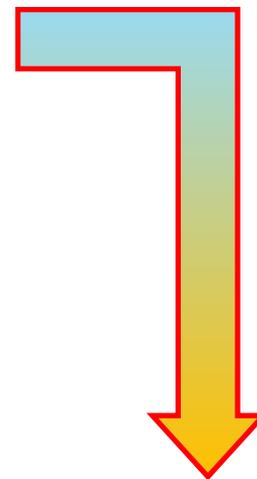
2025年度(目標最終年)までの**輸出目標**(数量・金額)を明確に設定し、
目標達成に向けた事業戦略の実行を展開します

【2021(令和3)年度実績】

輸出国	輸出商品	輸出量(ト)	輸出金額(円)
台湾・中国・香港	精米・玄米	207.6	34,748,000

【2025(令和7)年度目標】

輸出国	輸出商品	輸出量(ト)	輸出金額(円)
台湾	玄米・日本酒	123.6	20,760,000
中国	精米・日本酒	123.6	20,760,000
香港	精米・日本酒	536.6	121,026,000
フィンランド	精米	15.4	2,550,000
モンゴル	精米	55.1	12,117,600
シンガポール	精米・パックご飯・日本酒	111.4	26,635,200
ブラジル	パックご飯・日本酒	3.5	6,000,000
ウズベキスタン	パックご飯・日本酒	3.5	6,000,000
南アフリカ	精米	27.6	7,160,400
タイ	精米・パックご飯・日本酒	3.5	6,000,000
イギリス	パックご飯・日本酒	3.5	6,000,000
アメリカ	パックご飯・日本酒	3.5	6,000,000
合計		1,010.8	241,009,200



3年後には・・・
輸出量**1,000ト**以上
輸出額**2億円**以上の
拡大を目標！

◆海外需要確保に向けた輸出商品の選定①

海外での生活様式や日本製品の輸出実績を調査の上、当JAでは以下3商品の海外販路拡大に向けた計画を策定

①日本酒（三千櫻酒造製造；当JAのPB商品）



本町の地域特性である大雪山旭岳の豊富な伏流水と、東川米を合わせた新たなブランド品として、国内販売と合わせ海外市場への販売強化を目指します

海外での日本酒消費は伸長傾向にありますが、他の商品との差別化を図るため、**大雪旭岳源水とその水つくる東川米の付加価値を合わせたブランド酒**として展開を図っています

「世界で飲まれるHIGASHIKAWA RICE」をスローガンに、町内生産者5名で酒造好適米の高品質米生産に取り組みます

輸出専用の「酒造好適米」契約圃場を設置し、三千櫻酒造(株)へ原料供給・商品製造を行っています



◆海外需要確保に向けた輸出商品の選定②

②パックご飯

③精米商品

炊飯器の普及が少ない海外の生活様式に合わせ、電子レンジや湯せん調理が可能な「**パックご飯**」をこれからの販路拡大商品として選定しています
現在、国内でのコメ消費は低迷する中、特に需要を伸長させている商品であり、近年は輸出実績でも右肩上がりには伸びています

今後、新たに精米機能を導入(P12参照)し、**特殊な精米方法により栄養成分を残しながら美味しさを実現させた「金賞健康米」や「冷凍食品」の製造・海外輸出も計画しています**

日本産米の美味しさはもちろんのこと、健康志向の商品として世界中での消費拡大を目指します
また、地元で原料生産から加工までの商流一極化によるコスト削減を実現させ、安定的な需要確保を目指します



輸出向けに長期保存が可能な「うな丼」など冷凍食品の開発にも着手しています

◆輸出目標達成に向けた取り組み①

輸出商品の宣伝活動（動画配信）

グローバル化を目指した取組の一環として、当JA職員による「東川町の魅力・特長」や特産品（輸出商品）の紹介動画を作成し、YouTube配信を行っています（JAひがしかわチャンネル）

その他、輸出に関わる活動については、報道機関のご協力のもと、積極的に発信しています



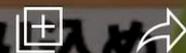
【道内初の公設民営酒造】売切れ続出!?農協女子が三千櫻酒造を取材してきた!



東川米を世界ブランドに「モチモチしておいしい」東川町がロシアで自慢のコメをPR (...)

輸出事業に関わる担当役割（販売・事務手続き・広報他）を明確させ、目標達成のために担当メンバーの能力を高め協働化を進めます。

東川米を世界ブランドに「モチモチしていておいしい」東川町がロシ...



在ロシア日本大使館

モスクワ きのう

ロシアでも入手できる食材と融合



0:02 / 0:52

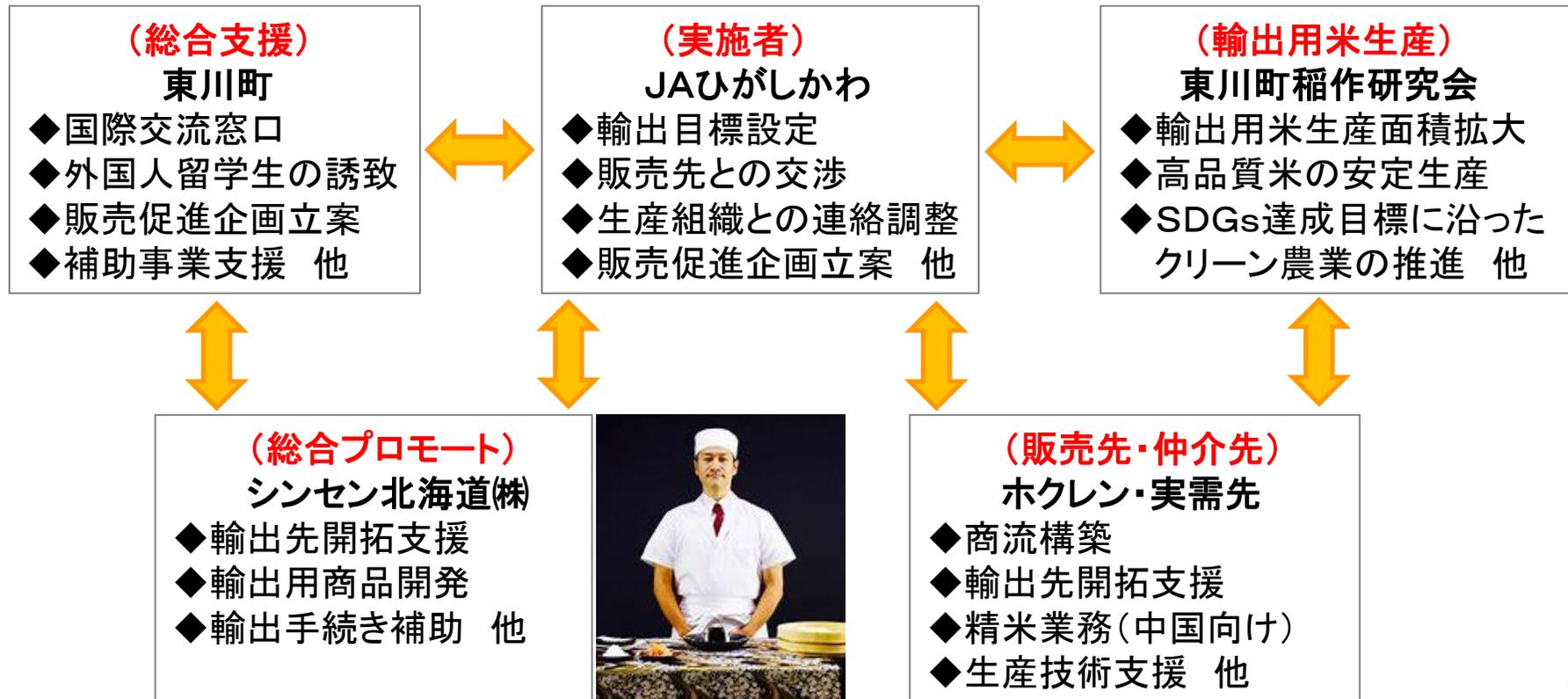


◆輸出目標達成に向けた取り組み②

関係機関連携による輸出促進

販路拡大に向けた各関係機関との協力体制を確立し、それぞれの役割を明確にした中で事業を展開します

(事業実施体制図)



ライスボールプレイヤー川原悟氏

◆輸出目標達成に向けた課題と対応策

海上輸送中の気候変動や長期間物流による品質劣化が課題。長期間保存や鮮度保持に特化した製造機能導入し、新鮮で美味しい東川米の通年供給を目指す



(精米施設・粳乾燥調製貯蔵施設 外観イメージ)



(高機能性米製造機能・無洗米加工機能)

玄米殺菌・殺虫殺卵装置(最新機器導入)

- R6年の施設整備事業にて新設する精米工場と原料粳のライスターミナル付帯機能として、精米前に玄米に付着する細菌・害虫(幼虫・卵)を除去する最新機器の導入を計画
- 各施設の建設に向けて、現在「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」事業の申請を予定

常に美味しいお米を世界中の方に提供し、日本産米の品質評価獲得により、国産米全体の輸出量拡大に寄与！

◆輸出拡大に向けての産地間連携について

品目間で連携し、“オールジャパン/北海道”で更なるブランド化を目指す

- 品目間でコラボしやすいコメの強みを活かすべく、「東川ボール」ラインナップを拡充
 - “マーケットイン”の発想で、海外現地でアンケートを取り、人気が高いものを商品化している(焼きおにぎり等、濃い味のものが多く)
- 今後は、道内はもちろん、他エリアのおいしい食材と組み合わせた商品化も狙いたい
 - アジア圏では既に“北海道ブランド”は強いが、台湾等の競争が激しい市場の開拓に向けて今後より一層ブランド力を確固たるものとしたい
 - 鹿児島県大崎市のうなぎ×東川米でのウナギ丼等、道外含めた連携も進めたい
 - 道内では、特に海産物(昆布・海苔・さけ・すじこ 等)とコラボしたい
- 価格競争力を高めるべく、食品以外も視野に混載による大ロット輸送の在り方も検討
 - ホクレンと連携させていただき、他地域の米と一緒に輸送する等している
 - コメの輸入が難しい地域には、コメ以外の加工食品で提案していきたい

ご清聴ありがとうございました

当JAの輸出目標達成に向け、事業戦略の実行を一層加速・強化してまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

GFP北海道 輸出セミナー&マッチング in 旭川

2023年1月27日(金) 13:00~18:00

**「GFP北海道輸出セミナー & マッチングin旭川」
道産青果物の輸出拡大・地域連携のポイント**

滝川地方卸売市場株式会社

林 嘉信

会社概要（滝川地方卸売市場株式会社）

創業112年の卸売業者であり、平成27年度から輸出を開始。
富良野のメロン等の道内産青果物を香港やアメリカ等に輸出。

概要・輸出経緯

- 生鮮農水産物や農水産加工品等を地元や札幌商圏に販売
- 前職の商社にて培った経験・人脈を活かして当市場にて平成27年から輸出を開始
 - 鮮魚、青果及び生鮮食品の卸売業として地域商社機能を発揮
- 道内産の青果物や水産物を中心に、アジアや北米に輸出
- 販売先のニーズに合わせ、水産物の真空対応や、青果のカットやパック詰め等の加工も行う

輸出実績(平成27年より開始)

	輸出額(万円)	出荷時期
令和元年度	2,000	6月中旬～ 11月上旬
令和2年度	3,000	
令和3年度	5,000	

→令和4年度は輸出額8,000万の見込み



輸出対象の道内産青果物

空き輸送スペースを用いた試験的な輸出を通じて、取扱品目を拡大。赤肉メロン、りんご、長芋、南瓜、人参等多品目を輸出。



- 輸出初年度は、メロン・庄内柿・たまねぎ・りんご等を香港やマレーシア等のアジア圏に輸出

- 現在は富良野産のメロンを主体に、先方の注文に応じて道内産青果物を香港・ロシア・アメリカ等へ輸出



- 令和4年度はとうもろこし・ながいも・かぼちゃに力を入れ輸出額を拡大

- 空き輸送スペースを用いた試験的な輸出を通じて取組品目を拡大

輸出先国等・輸出品目の選定の重要性

各国・地域のインフラの整備状況、消費行動、食べ方の好み等を理解した上での輸出先国・地域を選定することが重要。

【具体例①：マレーシア】

- 交通渋滞を含めてコールドチェーンが整備されておらず、柿が常温で一日半の間、輸送されてしまったことがある
- 日常的に食する青果物は韓国・ベトナム産が主であり、グルテンフリーのものがねらい目

【具体例②：香港、台湾】

- 小ぶりなメロンを、収穫後、熟させずにすぐ食べる人が多い



主な取組～現地ニーズの把握

JETRO香港や顧客とのやり取り、現地商談、現地量販店での消費行動の観察により、生のニーズを把握。

JETROや顧客とのやり取り

- 利益度外視で、まずは商品を知ってもらう努力
- 経産省の補助金を用いて、頻繁にJETRO香港や領事館を訪問
- JETRO香港の事務所内にメロンを展示

コロナを追い風にした商談

- JETRO香港を来訪した現地企業の社長から連絡を受け、商談成立
- コロナ禍においても、オンラインでの効率的な商談会の実施
- 先方が来日し、商談が行われることもあった

消費行動の観察

- 現地のスーパーでの面積分析を実施
- 香港や台湾は、贈答品として派手な包装の評判が人気
- コメについて、料理用途によって使用する種類を変えるため、数100g単位で販売

現地に足を運ぶことで、現地のニーズを正確に把握

課題解消～輸送コストの削減・輸送スペースの確保

- 課題：貨物輸送費は従量制であるため、軽量のものが多い青果物は航空会社にとって魅力が乏しい。また、輸送費は季節や航空会社によっても一様でない
 - 航空会社と粘り強く交渉し、積み荷が足りなくなるリスクを抱えつつも**早めにスペースの予約を行うことで低価格枠を獲得**
 - 計画的な出荷により、定曜日での安定的な輸出を実現
 - **余剰スペースは、試験的な輸出品目を積載し有効活用**

大口の輸出が難しく、まずは少量から輸出を行いたい事業者様と連携可能

継続的な取引に向けた工夫

速やかな返信による信頼関係の構築と、要望に応じた荷揚げ地までの運賃負担により、前年比160%と順調に輸出拡大。



- **取引先のやり取りはスピードが命。**たとえ休日でも返信が遅いと、他の事業者に当たられてしまう



- 貿易条件として、C&F (Cost and Freight) を採用し、運賃・通関費用等の費用負担を自社のコストに含んで、フライトの手配など顧客の手間を省く提案を実施

道内事業者との連携・今後の展望

- 道内の主要な市場との連携に向けて、**ニーズ把握や輸出の方法に関する意見交換**や、知見を活かした支援が可能
 - 帯広の知人経営者へ道内の輸出勉強会の開催を計画中
- 輸出を始める道内産地の青果物の取扱を通じた支援が可能。**低価格の輸送スペースを確保できる強み**を活かした低コスト輸出が可能
 - 東南アジアから引き合いの強い「さつま芋」や、「ながいも」等について、将来的には複数産地の産品をまとめて、船舶で輸送したい
- 海外との商談で英語を使用することもあるが、色々な便利ツールの使用で対応可能であり、気後れする必要はない
- まずは**品目、時期、規格、価格、箱の寸法等を気軽にご連絡ください**

最後に

オール北海道で輸出に取り組みましょう！
ご相談の連絡、お待ちしております！



「GFP北海道輸出セミナー&マッチングin旭川」 冷凍技術活用による和菓子の輸出取組

とがち製菓株式会社
代表取締役社長

駒野 裕之



企業概要（とがち製菓株式会社）

冷凍技術を活用した品質の高い大福、わらび餅、白玉ぜんざい等を、北海道から香港・米国・中国・マレーシア等へ輸出。

製品開発力を武器に北海道から世界へ展開



- 2012年に北海道で創業、主な品目は大福、わらび餅、白玉ぜんざい等の和菓子20品目
- 輸出先国は香港・米国・中国・マレーシア等であり、日系商社を用いた間接輸出を基本としながら、現地法人を有すマレーシアでは直接輸出の経験あり
- 十勝産小豆を使用した冷凍製造の商品は、解凍後にも柔らかさを維持した品質保持に強みを持つ

輸出取組の経緯

賞味期限延長のため国内でも冷凍で商品を展開しており、国内のコンビニ依存脱却のためマレーシアから海外へ輸出を開始。

冷凍による賞味期限の長さを活かし海外へ販路拡大



- 設立当初からのコンビニエンスストア中心の売上から脱却するため、海外へ販路を求めた
- 商品は国内においても全国展開するために冷凍で開発。冷凍活用の賞味期限延長により海外への対応が可能に
 - 現在の賞味期限は1年～1年3か月程度、解凍後は5、6日程度
- 様々な国への視察を経て、JICA草の根協力事業でマレーシアを訪問し、競合が少なく参入障壁も低いため、進出を決意

輸出の現状（中食・小売展開）

香港の中食向け、米国の小売向け等を中心に輸出額を増やし、現地ニーズを捉えることで、香港へは大ロット輸出を実施。

中食を中心に、現地ニーズを捉えて輸出を拡大



- 中食・小売向けに、輸出額は順調に拡大しており、今年度は6000万円/年程度となる見込み
- 最大の輸出先は香港であり、A-1bakery・華御結へ中食の需要を拡大。次いで米国の日系スーパーに向け輸出が多い
 - 特に香港では、現地と直接やりとりし、ニーズに合わせた商品展開（PB含む）を実施
 - 間接貿易だが、バイヤーの要望を直接聞く事が出来ていることで、開発がスムーズ・導入が迅速といったメリットがある
 - コロナ禍による日本産需要の拡大で新規取引が増え、自社商品の取引量が増大



輸出拡大に向けたポイント

- 国内での知名度は海外展開にも繋がる。売る力があるかどうかは、国内の販売実績が輸出商社や海外バイヤーの判断材料となる
- 可能な限り現地を訪れ、店舗の様子や顧客層、現地商品の価格帯等の一次情報を獲得し、改善策に繋げる
 - マレーシアからの定期注文が来ず伸び悩んだ際、現地商品との価格差を目の当たりにし、現地製造への着想へ
- 可能な限り高く売りつけるのではなく、“適切”な価格で関係者にできるスキームと一緒に考える事が大事
 - 帯広でバンニングする事で、商品価格を抑える事が実現できた

輸出は特別ではない。国内で実施している事を海外でも粘り強く行う！

日本訴求・ローカライズによる海外展開

日本産の優位性を活かしつつ、各国ニーズを把握したうえでチーズ・クリーム等現地嗜好に合わせた商品開発等を工夫。

日本特有の強みを活かしつつ各国ニーズに沿って工夫



- 中国・香港・台湾等の東アジア圏は、餡子や餅に馴染みがあり、好みも日本人の感覚に近い
 - 日本産ならではの品質の高さを強みとして訴求
- 和菓子をそのまま輸出するのみならず、市場調査や現地人社員の意見から現地ニーズ把握をしたうえでの商品展開も重要
 - 米国・マレーシアへは規制を踏まえつつチーズ・クリーム等で洋風化し、ローカライズ商品を開発
 - また、単なる販路拡大のみならず、飽きられないような定期的な新商品を投入し続ける

冷凍輸出の取組ポイント

冷凍輸出は賞味期限延長メリットを生かしつつ、品質への影響や冷凍物流特有のオペレーション等を考慮した取組を実施。

冷凍のメリット・デメリットを踏まえた取組が必要

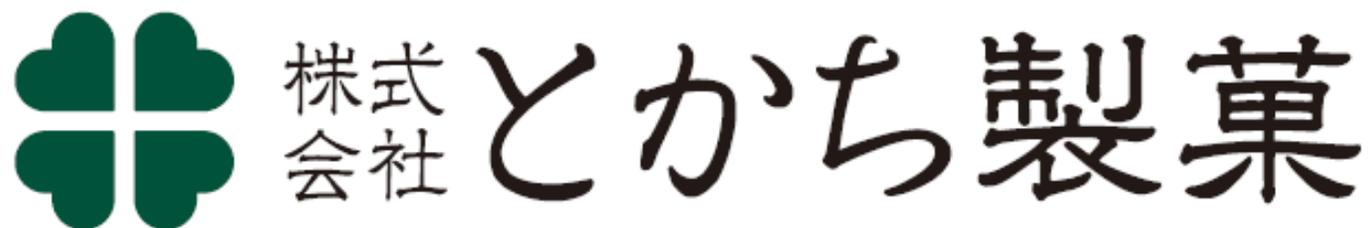


- 冷凍技術活用による賞味期限延長で、海外への輸出可能性が拡大することが最大のポイント
 - 常温・冷蔵の商品で短い賞味期限の場合、そもそも商談のテーブルに乗ることができない
 - 長い賞味期限によるロス率低下は、売れ残りコスト削減に加え、SDGsの観点から購買側も選定しやすい要素となっている
- 冷凍で品質保持が可能となる一方、味・感触等は変化するため、それらを踏まえた商品開発が必要
- 冷凍物流に特有のオペレーションから逆算した取組を行う必要がある

今後の展望

- 香港へは現在の中食のみならず、飲食向け業務用やコンビニへの展開等、販売先の拡大を目指す
- マレーシアへはハラール対応商品による直接貿易の再開を目指す。また現地での製造に向け、人材の採用・品質向上を強化
 - ハラール対応商品であれば、弊社にてマレーシアへの提案・輸出に向けた連携が可能
- 現地の様々なニーズに応える為、今後は酒類の取扱ライセンス取得を目指す等、複数の加工食品の取扱い・輸出を目指す
 - 自社でも商社機能を持ち、北海道を中心とした全国のメーカーの商品を取り纏め、混載輸出を行いたい

ぜひオール北海道での輸出を連携して拡大していきましょう！



GFP北海道 輸出セミナー&マッチング in 旭川

2023年1月27日(金) 13:00~18:00

GFP北海道輸出セミナー & マッチングin旭川 札幌パークホテルの取り組みについて

2023年1月27日(金)



【札幌パークホテルについて】

■ 私たちの思いとホテルの歴史

北の都の四季を感じ、
自然にやさしい人々のくつろぎの場として

創業より国賓・公賓を幾多と「おもてなし」してきた札幌MICEの中心として、
世界に通用するホスピタリティーと、国際基準のホテルとしての豊富な経験、
技術による確かな味とサービスを提供しつづけます。



【札幌パークホテルについて】

■ 札幌パークホテルの歩み



札幌市民のオアシス中島公園の一角で、街の発展と共に歩んできた

札幌市の中心街から少し南方、中島公園の一角に国際水準の観光ホテルを主体にボウリング場、国際大会議場、大展示場、大宴会場等の施設を備うる一大社交場として設立を計画。政治文化経済面にわたる国際協力の緊密化、海外旅客の往来が激増、昭和43年に開催予定の国際冬季オリンピック大会に際して国際水準のホテル新設は、北海道、札幌市挙げての要請となった。以来、50余年に亘り、幾多の国賓とお客様をお迎えしてまいりました。中島公園が写した四季折々の美しい自然に囲まれた景観と、歴史の中で、数々の国際会議や学会、招待旅行などで、VIPをお迎えしてきた経験豊かなスタッフが北海道産素材を使用し吟味した料理と、ホスピタリティーあふれるキャストの笑顔と技術に裏付けされた確かな味とホテルサービスのご提供をこれからも続けてまいります。

【札幌パークホテルについて】

■ 施設概要

7~9F

スーペリアフロア

Superior Floor

スタイリッシュ・ナチュラル・モダンがコンセプトのフロアです。
自然の素材感溢れるマテリアルを装備したスーペリアフロアでワンランク上の
ホテルステイをお楽しみ下さい。



スーペリアクイーンダブル



スーペリアラージツイン



5~6F

スタンダードフロア

Standard Floor

ビジネスや観光など様々なシーンに適したお部屋をご用意しております。
上質なくつろぎの時間をお過ごしください。



スタンダードシングル



スタンダードツイン

【札幌パークホテルについて】

■ 施設概要

テラスレストラン ピアレ Terrace Restaurant Piare

中庭に面した開放感のある大きな窓が特徴のテラスレストランピアレ。中島公園の四季の移り変わりを感じる事ができる店内はゆっくりとした時間が過ぎてゆきます。



四川料理 桃源郷 Togenkyo

豊富な山海の幸をふんだんに使った札幌パークホテルならではのおもてなし料理。四川の味は、酸・甜・苦・辣・麻・鹹と色・香りとともに三位一体、五味を愛でる日本人の嗜好にとってもよく合う中国料理です。



会員制クラブ パーククラブ Membership Club Park Club

パーククラブは昭和42年誕生以来、たくさんの方々に変えられ、親しまれてきました。バラエティ豊かなお料理、そして世界の美酒、生演奏が楽しめるホール、個室、カウンターバー、解着ルームとあらゆる目的に合わせてご自由にご利用ください。



日本料理 なだ万雅殿 Nadaman

個性豊かに、華やかに、旬の味覚が咲き競う。中島公園を一望するパノラマを愉しみながら、名物なだ万の伝統と技と味わいをご堪能ください。



【札幌パークホテルについて】

■ 施設概要

ご宴会・会議

歴史と経験に裏付けられた確かなサービスで、お客様の大切なシーンを演出します。



【札幌パークホテルについて】

■ 各種取り組み グランビスタファームや養蜂など 地域との繋がりと関わり方

グランビスタファームでの取り組み

グランビスタファームとは、2014年度からスタートした自社農園は
共有価値創造活動「Shaping the Global Future」の一環としての取り組みです。



【札幌パークホテルについて】

■ 各種取り組み グランビスタファームや養蜂など 地域との繋がりと関わり方



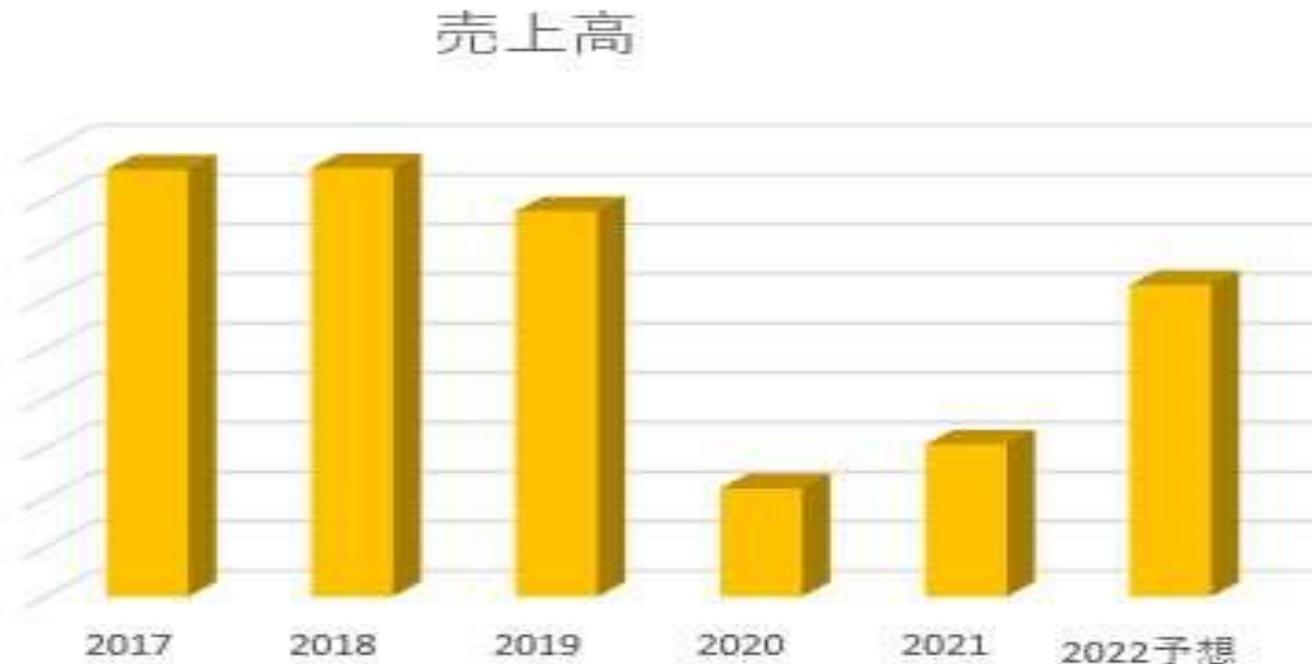
【札幌パークホテルについて】

■ 各種取り組み グランビスタファームや養蜂など 地域との繋がりと関わり方



【札幌パークホテルの現在の状況】

■ 過年から営業状況 売上推移



■ 現状の問題点や課題

- ・コロナ禍制限期間での離職者増による人員不足と新規採用の難しい市場。
人員不足に起因する提供サービスの制限とサービス品質低下。人材育成のスピード鈍化。
安定した売り上げ確保が予想出来ない事による、計画的な人員配置の検討困難。
大型宴席の減少、法人・公的機関での宴席開催の自粛。会合や宴席自体の減少。
急速な経済回復と観光需要への対応力の不足。

【札幌パークホテルの新たな取り組みとこれから…。】

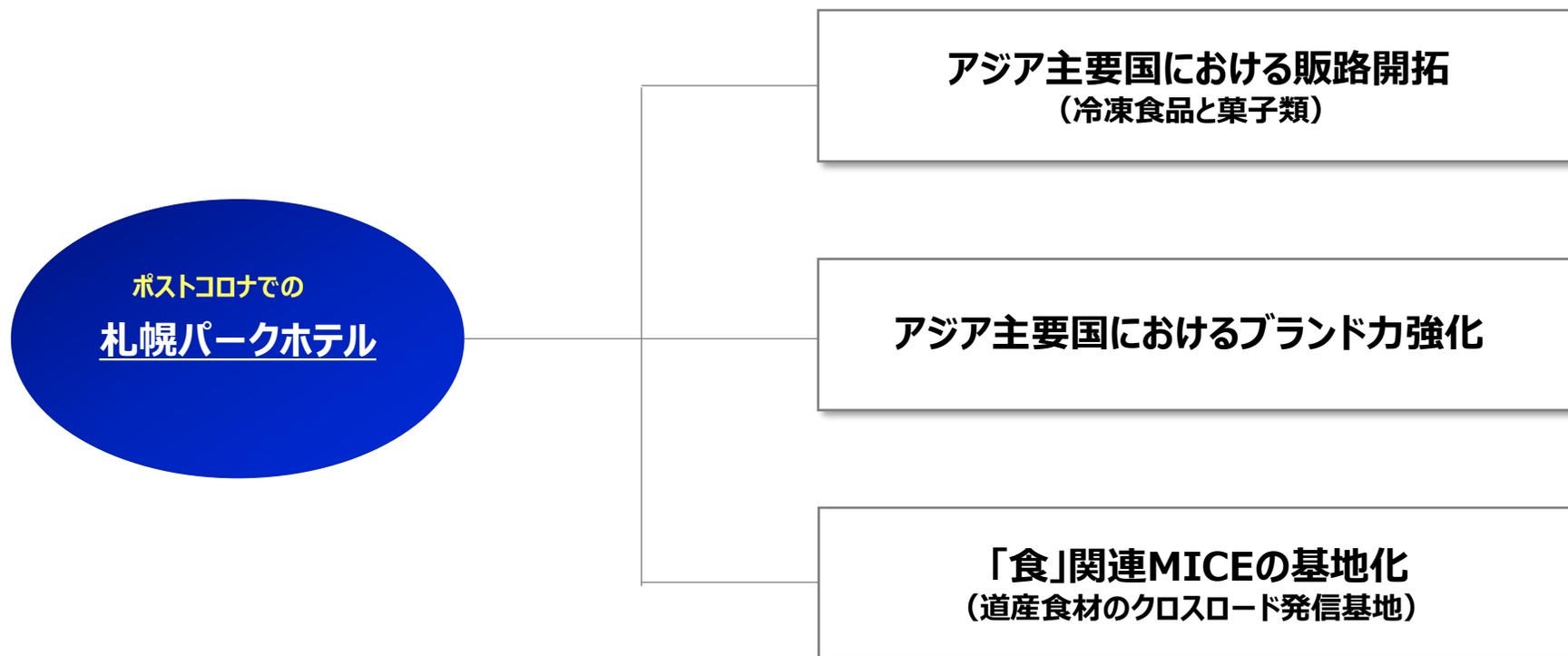
■ 既存の営業手法のブラッシュアップと新しいサービスの提供を検討



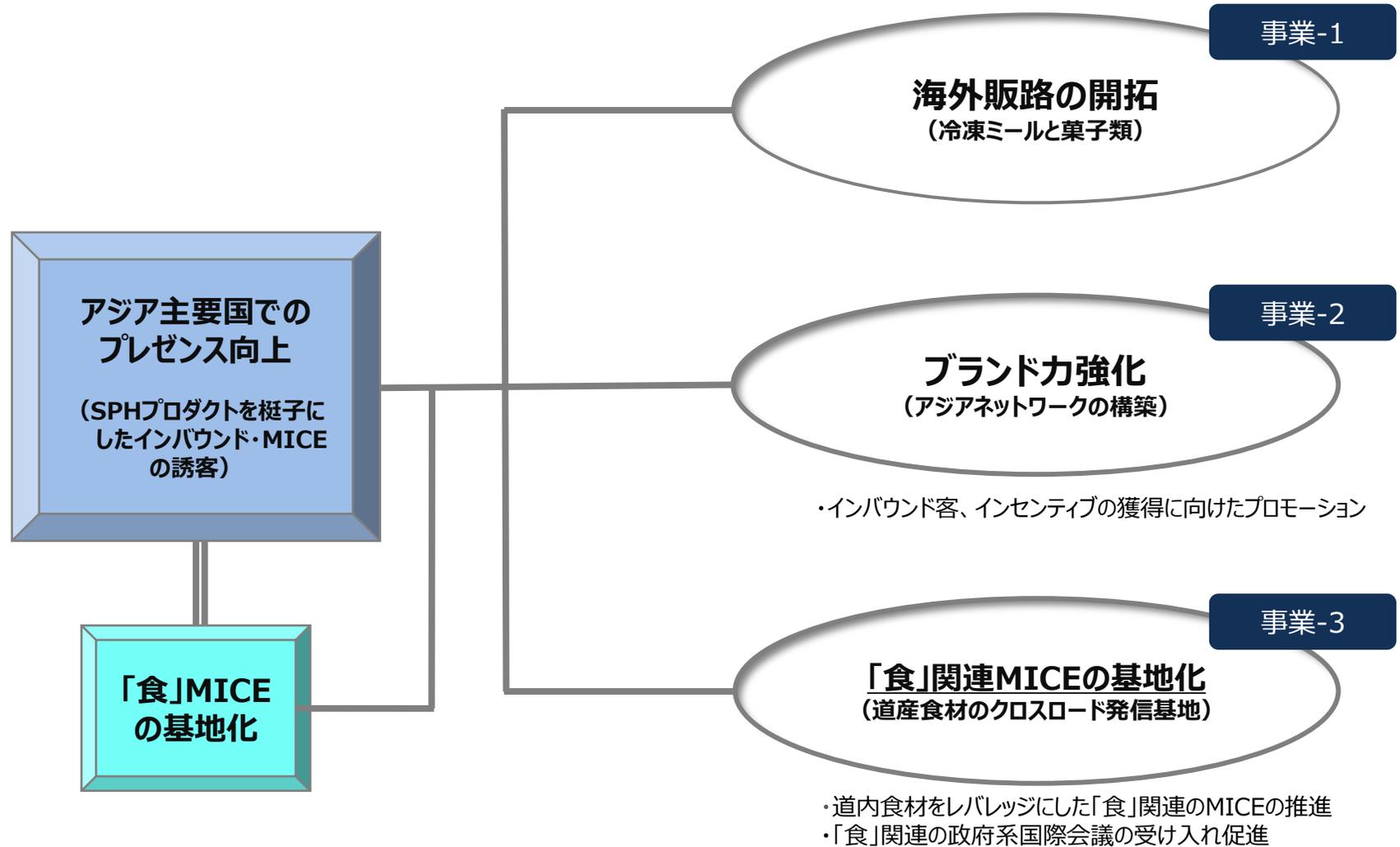
■ 販路拡大となる輸出事業への取り組みについて



【アジア主要国におけるブランディング力の強化について】



【アジア主要国におけるブランディング力の強化について】



【アジア主要国におけるブランディング力の強化について】

販路開拓 (事業-1)

テストマーケティング
(政府補助事業)

- ・対象商品の拡大検証
- ・対象国の拡大検証

成果検証

if
"YES"

次のステップへの移行
(判断)

貿易リスク等の検証

商品買取	国リスク	ロジスティックス	収益	代金回収
------	------	----------	----	------



ブランド力強化 (事業-2)

誘客活動
(インバウンド、インセンティブ)

ファムツアー
(自治体、コンベンションビューローとの協働)

インセンティブプログラム
(モデル事業の提案)

インバウンド
(SPHの価値体験プログラム)

「食」MICE基地化 (事業-3)

「食」MICEの開催

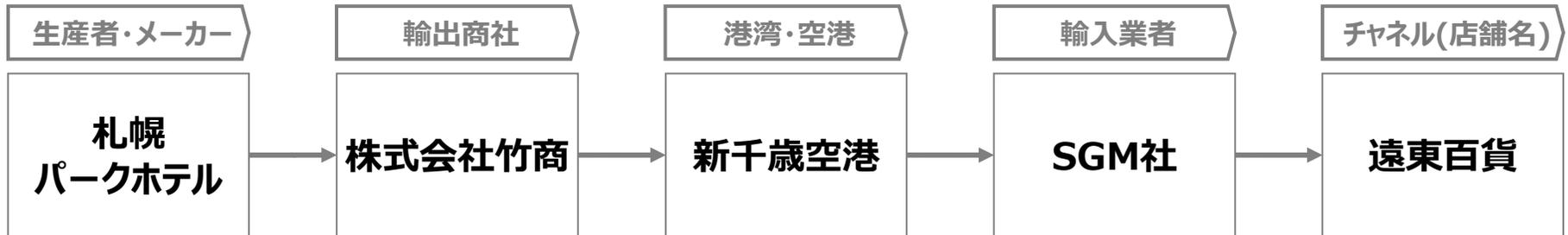
道産食材とのコラボ

【輸出事業フロー】

**事業の進め方**

- ◆2021年度～2025年度 事業導入申請と準備及び実施期間と設定
- ◆2021年度
「補正加工食品輸出産地確率緊急対策」による補助事業（補助率1/2）の申請
（事務作業のみ）
- ◆2022年度
 - ・各規制等に適合した冷凍スイーツ・ミールキットの商品改良（成分表示等）とリパッケージング
 - ・商流・物流における各種証明書の発行（事務作業）
 - ・同年10月よりテストマーケティングに向けたテスト輸出の準備
 - ・同年10月末、台湾へ輸出
 - ・同年11月末、シンガポールへ輸出
- ◆2023年度
 - ・テストマーケティング実証実験（香港・台湾・シンガポールのうち一カ所）
 - <商品PRを通じた反応やアンケート調査の実施>
 - <対象商品の仕様・ブランディング・パッケージング・表示方法・販路の改良点を特定し検証>
- ◆2024年度～2025年度（3国・地域→8国・地域）
 - ・対象商品（品目）の拡大と対象国及び取引相手の拡大（2025年为目标達成年次）

【台湾へのテスト輸出概要】



取組概要



チーズケーキ（440g）を台湾にテスト輸出し、SGM社（輸入業者名）を通じて、現地一般消費者へ販売、アンケートを実施

（検証結果）

- **輸送面**：円安による航空輸送経費の拡大及び賞味期限が短いことによる販売期間の縮小が課題
- **規制面**：容器に関して海外向けが求められること、成分分析に関しては、トランス脂肪酸の有無についてより厳しい検査が求められることが課題
- **販路開拓**：富裕層アンケートで評価が高かった富裕層を対象とした店舗販売に可能性を感じた

【シンガポールへのテスト輸出概要】



取組概要



チーズケーキ（850g）をシンガポールに輸出し、
i.m creations（輸入業者名）を通じて、
Facebookによるライブコマース販売を実施

（検証結果）

- **輸送面**：新千歳空港のクールチェーン面での品質維持の実現可能性について検証中
- **規制面**：特に問題なし
- **販路開拓**：現地からの評判は大変良く、SNSによる発信の強みを実感。生産力を向上させることでより一層の実績構築が可能と思慮

【海外販路を求める商品】



Frozen Meal Kit
冷凍ミールキット



【海外販路を求める対象商品①】

パスタソース(洋食)シリーズ (変更の可能性有り)



【海外販路を求める対象商品②】

ダブルチーズケーキシリーズ



ダブルチーズケーキ【クラシック】



ダブルチーズケーキ【ハスカップ】

【対象商品の拡大】

おうちで楽しむ冷凍ミールシリーズ



桃源郷監修中華シリーズ + 乳製品



【ブランド力強化（アジアネットワークの構築）】

【事業概要】

1. 輸出取引相手 9 社の連携によるブランド発信

- ・インバウンド需要向けの現地でのPR活動（アンケートやヒヤリング調査を含む）
- ・インセンティブツアーの誘致を念頭においたSPH・MICEの発信（説明会、MICE見本市への出展等）
- ・現地旅行業者・主要企業へのセールス・プロモーション活動

2. 北海道食材の発信

- ・現地オピニオンリーダー向けの「北海道の味・試食会by 札幌パークホテルの匠の技」（仮称）の開催
- ・JETRO現地事務所、貿易商社現地事務所、日本国大使館・領事館等への情報提供

3. 札幌パークホテルにおけるアジア事業の実施

- ・台湾での繁盛店とのコラボレーション事業
- ・輸出取引相手とのコラボレーション

【札幌パークホテルの新たな取り組みとこれから…。】

■ その他の新しい取り組みについて

- ・北海道、札幌、そして札幌パークホテルの情報発信を提供
道内企業や各市町村の人とつながることでより良い商品作りと価値観を
札幌パークホテルを使って結びつける事業。
ホテルというラグジュアリーな時間と空間を提供して
北海道を旅しているような様々なシチュエーションを提案します。

■ 未来へ紡ぐ



GFP北海道 輸出セミナー&マッチング in 旭川

2023年1月27日(金) 13:00~18:00



SS GLOBAL 株式会社
2023.1.27.FRI



本日の内容

- (1) 自己紹介
- (2) シンガポールマーケットでの取り組み
 - ① 高島屋
 - ② 伊勢丹
 - ③ **HAO MART**
 - ④ **YUMMY YUMMY JAPAN**
- (3) 輸出の流れ、役割分担
- (4) 新たな取組: **FB LIVE**
- (5) 今後の展開

マリーナベイサンズ



(1) 自己紹介

- 鈴木智子(すずき さとこ)
- 小樽生まれ
- 職歴 札幌・コンチネンタル貿易にて、貿易事務を経て、中国・ベトナムからリネン輸入のバイヤー職に就く。同社で食品輸出部門を立ち上げ、中国・香港・台湾・シンガポール・インドネシア・タイ・ベトナムへポテンシャルの高い北海道の食品、日本酒のPR活動を行い、輸出販路構築に取り組む。その後、札幌の**CREATIVE OFFICE CUE**にて、飲食店事業運営に関わり、さらに地域活性事業室にて北海道内自治体との連携事業に取り組む。
2021年3月にSS GLOBAL株式会社を設立。現在に至る。
- 学歴 **2012年**、小樽商科大学大学院商学研究課アントレプレナーシップ専攻 経営管理修士(MBA)修了。
- その他 小樽商科大学非常勤講師
小樽商科大学産学官連携推進部門提携コンサルタント
食の6次産業化プロデューサー



(2) シンガポールマーケットでの取り組み

背景:

シンガポールマーケットは、富裕層の人口の高さ、貿易の障壁の低さ、アジアでのショーケースとしての位置付けより、輸出の相手国としての相応しいと判断。

2021年3月より、シンガポールへ向けての食品輸出を開始し、**I.M Creations** (シンガポールの会社)を通じて、シンガポール国内の百貨店、スーパーマーケット等への北海道食品の販売ルートの構築している。

シンガポール共和国:

面積: 728.3平方キロメートル

人口: 569万人

民族構成: 中国系(74.4%)

マレー系(13.4%)

インド系(9.0%)

その他(3.2%)

宗教: 仏教、イスラム教、インズー教、道教、キリスト教

公用語: 英語、中国語(北京語)、マレー語



①シンガポール高島屋SC

TAKASHIMAYA:

1993年にシンガポールのショッピング中心地オーチャード通りに面した一等地にオープン。

1、2階は高級ブランドで埋め尽くされており、オープン以来、アジアのショーケースとして週末には近隣国の富裕層がやってきて、常に賑わいを見せている。

地下2階には日本のデパ地下のようにお菓子コーナーや日本食のフードコート、ローカルのフードコートコーナーがある。



①北海道フェア・高島屋

2022年:

冷凍ラーメン



積丹のクラフトジン



②伊勢丹シンガポール

ISETAN:

1972年に設立されたシンガポール初の日系百貨店。
現在国内4店舗。(スコッツ・タンピネス・セラグーン・
ウィズマ)

スコッツ店はその中でも旗艦店として、オーチャード
とスコッツロードの交差点、商業エリアの中心地に
位置している。

地下には日本製・日本産の生鮮食品および調味料
を多く販売しており、年間を通じて日本各地域の物
産フェアが開催され、いわば「日本特産品のショー
ウィンド的存在」。



②北海道フェア・伊勢丹

2022.8月:



ニセコチーズ工房



③ HAO MART

HAO Mart:

2016年にHAOグループによって設立された、スーパーマーケットとコンビニエンスストアの中間という独自のポジショニング戦略で一気に店舗を拡大。

2018年以降は日本の伊勢丹のジュロン・イースト店舗を引き継ぎ、高級路線にも進出し、すでに50店舗を保有する新進気鋭のスーパーチェーン。

オーチャードの店舗を購入、リノベーションし、2023年に新たな店舗をオープン予定。

2022年6月よりI.M Creationsを介して、現地での販売スペースを確保し、セコマなど北海道産品の販売を開始。



④ YUMMY YUMMY JAPAN

YUMMY YUMMY JAPAN:

日本のプレミアム食品にフォーカスして、
ネットにて販売している。
特に北海道食品を取り上げている。



Yummy Yummy Japan
おいしい

An advertisement for Hokkaido Kelp Sauce. On the left, a golden bowl is being filled with dark sauce from a bottle. The Yummy Yummy Japan logo is in the top left of this section. On the right, a bottle of 'Hokkaido Kelp Sauce' (根昆布だし) is shown next to images of food like soup and dumplings. The text 'HOKKAIDO KELP SAUCE 根昆布だし' is prominently displayed, followed by 'Flavours of Hokkaido, Great with Anything'. A small map of Hokkaido is also visible.

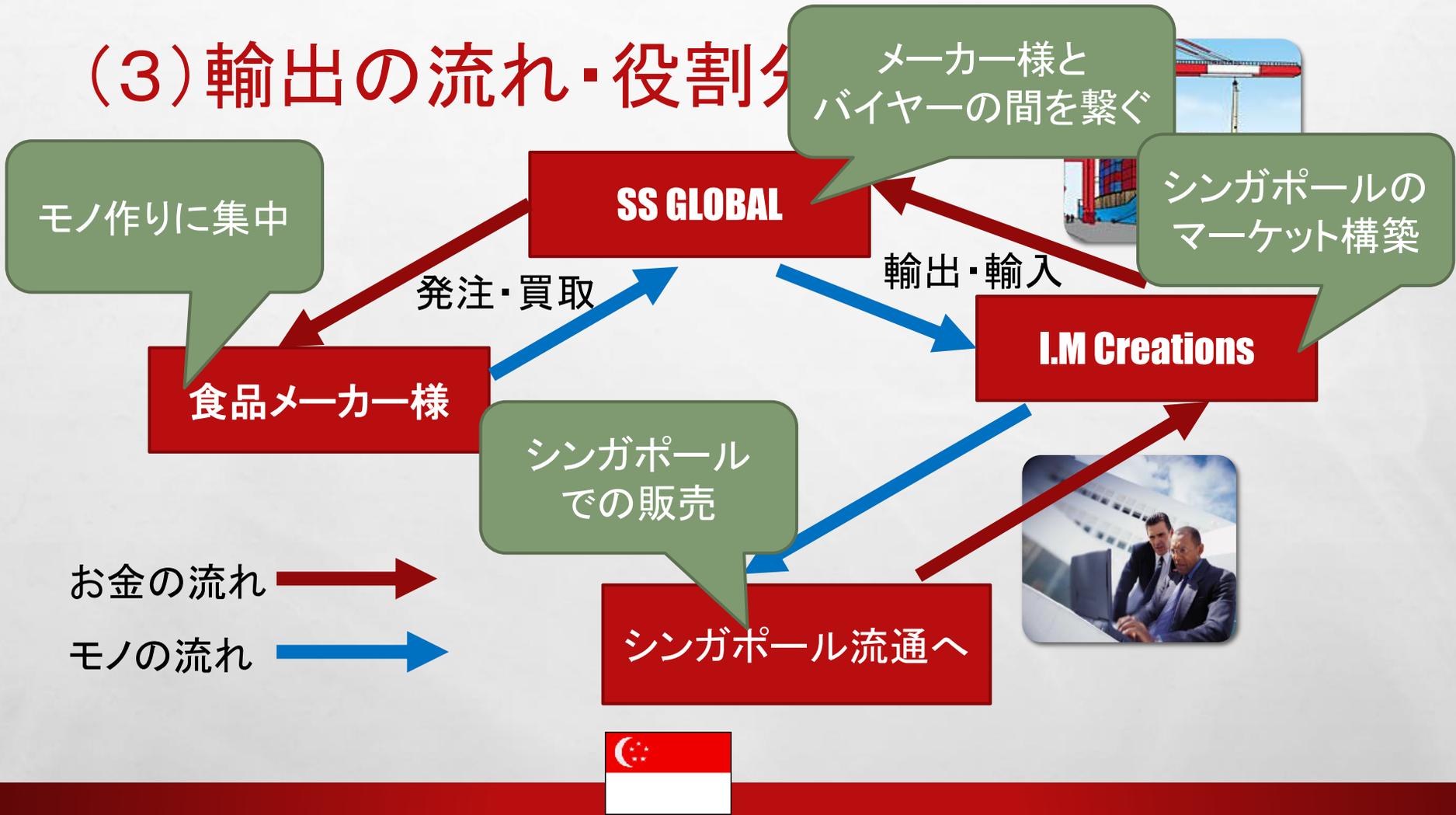
HOKKAIDO KELP SAUCE
根昆布だし

Flavours of Hokkaido,
Great with Anything

Made from ingredients sourced from the seas of Hokkaido, this kelp sauce adds that desirable umami kick to any dish while reducing salt content by about half of conventional soy sauces. Suitable for the same popular uses and functions as soy sauce, it is also great for adding to noodles, teriyaki sauce, marinades, dressings, and dips.



(3) 輸出の流れ・役割



(4) 新たな取り組み～FB LIVE

Face Book のLIVE配信による、ライブコマース:

- ・FBのLIVEショッピング:生放送!
視聴者の方から次々とオーダーが
- ・シンガポールからの配信だけではなく、
日本、韓国、イギリス、フランス、スペインなど、、、
各国からそれぞれに魅力的な商品を
ライブコマースにて販売。



(4) 新たな取り組み～FB LIVE



(4) 新たな取り組み～FB LIVE



(4) 新たな取り組み～FB LIVE



(4) 新たな取り組み～FB LIVE



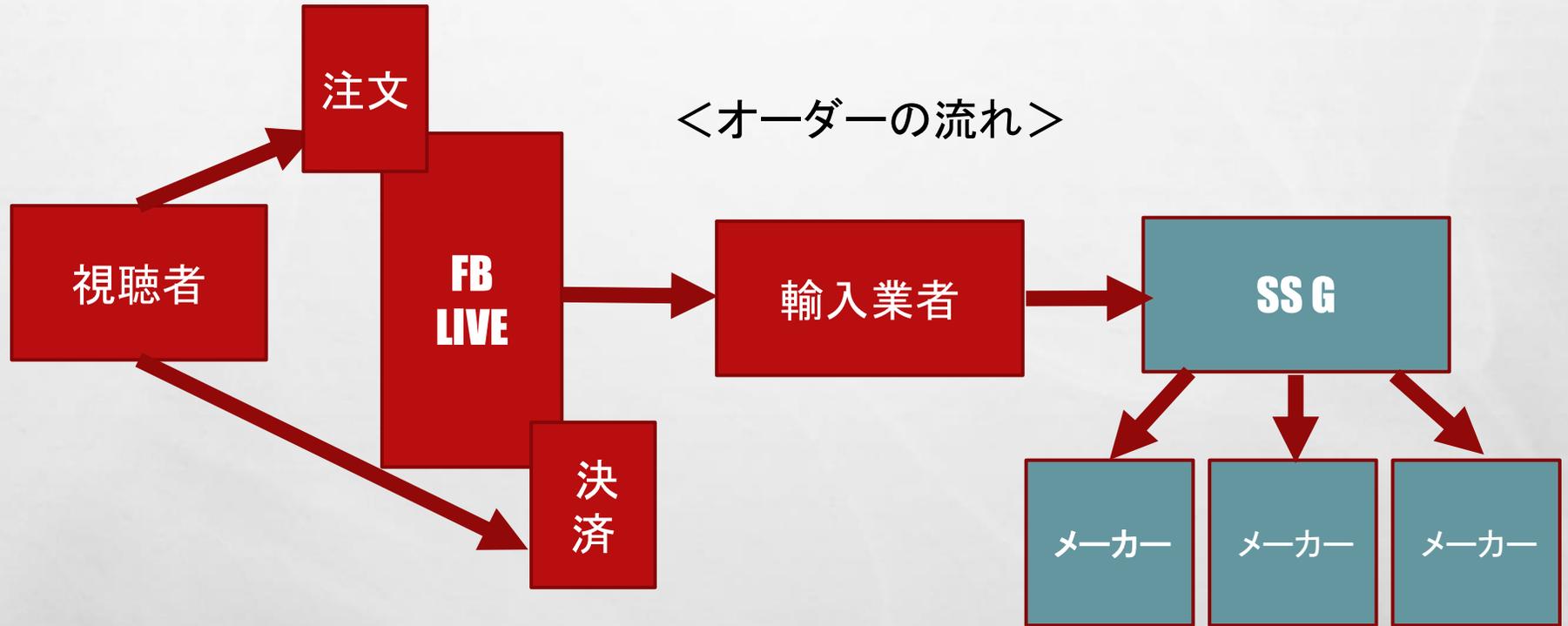
(4) 新たな取り組み～FB LIVE



(4) 新たな取り組み～FB LIVE



(4) 新たな取り組み～FB LIVE



(4) 新たな取り組み～FB LIVE

1

スピーディ

2

決済が安心

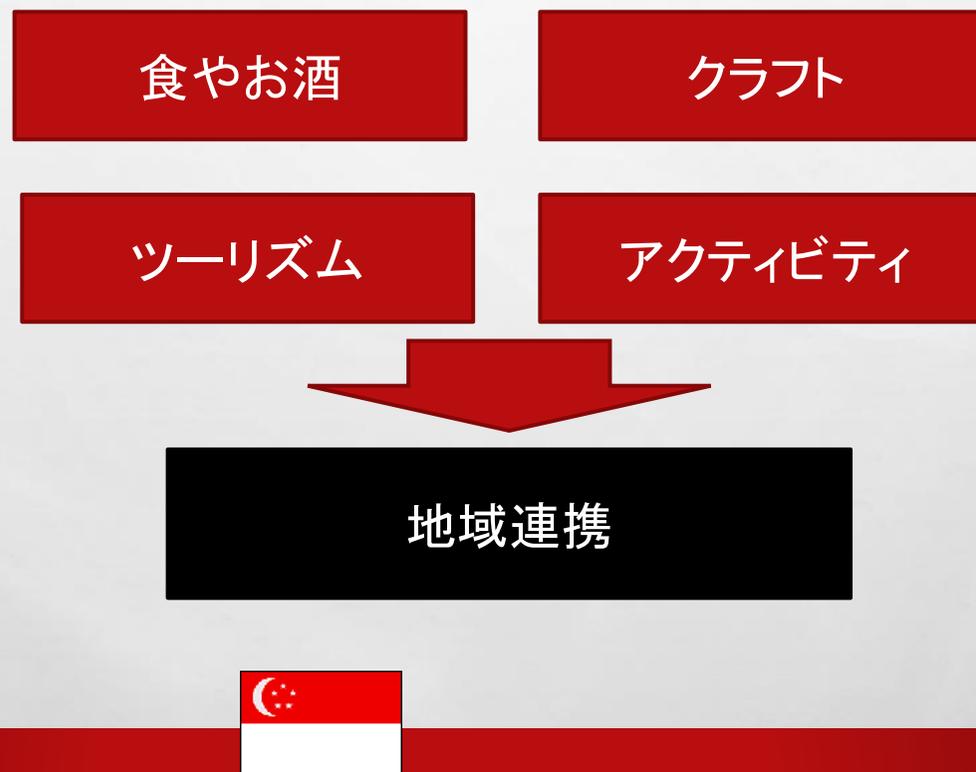
3

リアクションが見れる



(5) 今後の展開

* 2023年度、FACE BOOK LIVEは四季折々に開催予定



(5) 今後の展開

マーケティングアウト

商品が良いものだから売れるだろう。。。
商品が美味しいから売れるだろう。。。

マーケティングイン

お客様のリアクション
現地のニーズを捉えて
輸出に向けて
マイナーチェンジをする！

シンガポールマーケットへチャレンジしませんか？



ご清聴ありがとうございました！

SS GLOBAL株式会社
鈴木 智子

